

日本プロテオーム学会 2017 年大会 (JHUP0 第 15 回大会) 開催にあたって

日本プロテオーム学会 2017 年大会 (JHUP0 第 15 回大会) を、7 月 26 日から 28 日の 3 日間、大阪府吹田市のホテル阪急エキスポパークにて開催します。開催にあたり、展示、ランチョンセミナー、広告等で協賛して下さった企業関係者の方々、演題登録・参加登録していただいた方々、さらに大会の運営や企画に協力して下さった方々に心から御礼申し上げます。

本大会のテーマとして「**プロテオームは爆発だ～医療に変革を～**」を掲げ、わが国のプロテオーム研究をいかに活性化するか、また、プロテオーム研究の成果や技術を使ってどのように医療に変革をもたらすかについて、皆さんと一緒に考え、議論したいと考えています。また、医療の変革の基盤となる基礎研究や最新のプロテオーム解析技術に関するセッションも設ける予定です。さらに、初日 (26 日) の午後は、これからプロテオームを始める研究者やプロテオーム解析経験者を対象として、他の学会や研究会では聞けないような解析のノウハウを紹介するテクニカル教育セミナーを予定しています。

招待講演者として、ヒトプロテオームデータベースの構築だけでなく、クリニカルプロテオミクスの分野でも精力的な仕事をされている Akhilesh Pandey 教授、創薬プロテオミクスの第一人者である Benjamin Cravatt 教授、リン酸化プロテオミクスの臨床応用を目指した研究をされている Steven Pelech 教授と Benjamin Ruprecht 博士および韓国 KHUP0 との交換講演として Cheolju Lee 博士をお招きしております。

本大会では、特別講演、シンポジウム、ポスターセッション以外に、企業の技術紹介のイブニングセッションを設け、企業の方々に自社製品や自社開発研究を紹介していただく予定です。さらに、学術企画だけでなく、懇親会でも参加型企画を計画しておりますので、多くの方々に参加していただき、懇親を深めていただければと思います。

プロテオミクスにご興味をお持ちの幅広い分野の専門家や若い研究者、大学院生など多くの方々にご参加いただき、皆様の研究の更なる発展に結びつく大会になることを願っております。

ところで、本年は私の日本プロテオーム学会 (JPrOS) 会長の任期の最後の年になります。就任時に掲げた公約の大半は達成できたのではないかと考えています。具体的には、長年の課題であった学会誌の発行、年 2 回の実技中心のプロテオミクストレーニングコースの開催、日本生化学会や分子生物学会での学会企画シンポジウムの採択などがあげられます。また、学会主導の研究費獲得として、JST ライフサイエンスデータベース統合推進事業統合化推進プログラム「プロテオーム統合データベースの構築 (jPOST)」プロジェクトや AMED オーダーメイド医療の実現プログラム「血清・血漿試料の品質評価マーカーの開発と測定法の確立」が実現でき、それに伴い、JPrOS の中に新たなイニシアティブが立ち上がりました。これらの成果を挙げられたのも、ひとえに石濱副会長、小寺、木下、松本庶務担当委員および学会理事の協力の賜物です。理事の先生方には心より感謝いたします。

日本プロテオーム学会 2017 年会 (JHUP0 第 15 回大会) 大会長
日本プロテオーム学会 会長
朝長 毅 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

Annual Meeting of the Japanese Proteomics Society (JPrOS) 2017
(JHUPO 15th Conference)

Annual Meeting of the Japanese Proteomics Society (JPrOS) 2017 (JHUPO 15th Conference) will be held at Hotel Hankyu Expo Park in Suita City, Osaka Prefecture for 3 days from 26th to 28th July. Thank you very much for all the people involved in the company who cooperated in exhibitions, luncheon seminars, advertisements etc., those who attend the meeting and those who cooperated in the management and planning of the event.

The theme of this meeting is "proteomic explosion – medical innovation ". In this meeting, I would like to discuss how to revitalize the proteome research in our country, and how to innovate medicine using the technology of proteome research. We are planning to set up sessions on Clinical Proteomics, Pharmacoproteomics & Drug Development, Technological Advances, Basic Biology, Computational Proteomics, Proteomics of Body fluid and Systems Biology. Furthermore, on the afternoon of the first day (26th), we are planning a technical education seminar to introduce analytical know-how for researchers who start proteome and those who have experienced proteome analysis as well.

We invite Prof. Akhilesh Pandey who is doing energetic work in the field of clinical proteomics, Prof. Benjamin Cravatt, a leading expert on drug discovery proteomics, Prof. Steven Pelech and Dr. Benjamin Ruprecht who is working on phosphoproteomics for clinical application. We also invite Dr. Cheolju Lee as the exchange program between JPrOS and KHUPO.

In addition to the special lectures, symposiums, poster sessions, we will set up an evening session for companies to introduce their own products and research. Furthermore, we are planning social gatherings for the participants to deepen their friendship.

We hope that experts, young researchers, graduate students and many other people who are interested in proteomics join this meeting and utilize this opportunity for advancement of their research.

President of Annual Meeting of the Japanese Proteomics Society (JPrOS) 2017
(JHUPO 15th Conference)
Takeshi Tomonaga
(National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition)

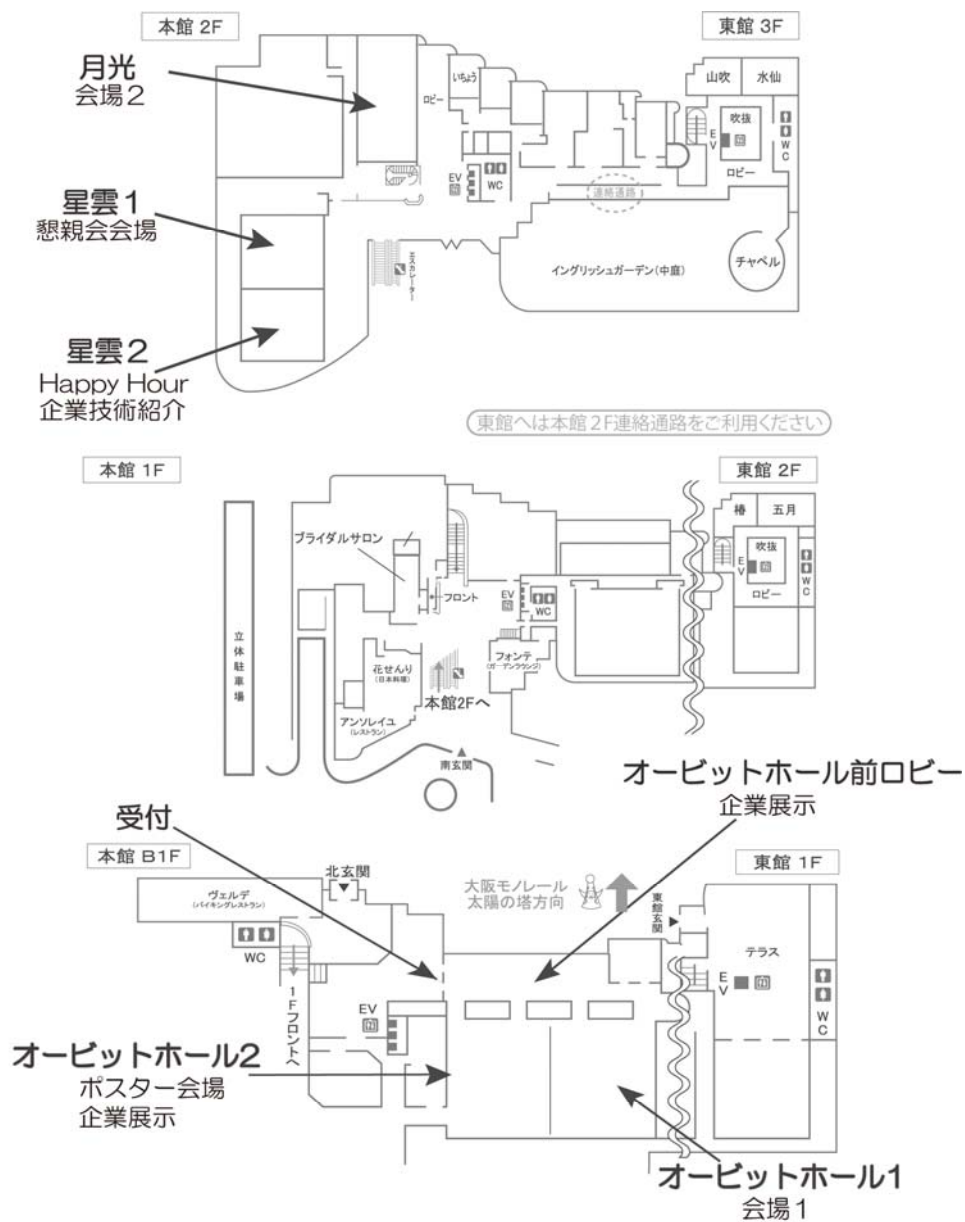
開催概要

- **会 場：** ホテル阪急エキスポパーク
- **講演会場：** 会場1（本館B 1F オービットホール1）
会場2（本館2F 月光）
- **ポスター会場：** 本館B 1F オービットホール2
※会場入場の際には、必ず参加証を着用してください。
- **総会・表彰式・受賞講演：**
7月28日（金） 14:00～15:45 （本館B 1F オービットホール1）
- **懇親会：** 7月27日（木） 18:40～21:00 （本館2F 星雲1,2）
（会費 3,000 円）※当日申込も受け付けます。
- **ランチョンセミナー会場：**
7月26日（水） 12:30～13:25
株式会社島津製作所（本館B 1F オービットホール1）
7月27日（木） 12:30～13:25
サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社
（本館B 1F オービットホール1）
コスモバイオ株式会社（本館2F 月光）
7月28日（金） 11:45～12:40
株式会社エービー・サイエックス（本館B 1F オービットホール1）
バイオ・ラッド ラバトリーズ株式会社（本館2F 月光）
- **企業展示会：** 7月27日（木）9:00～18:00
（本館B 1F オービットホール前ロビー・オービットホール2）
7月28日（金）9:00～16:00
（本館B 1F オービットホール前ロビー・オービットホール2）
両日フリードリンクあり
- **企業技術紹介：** 7月27日（木）17:50～18:40（本館2F 星雲2）
- **理事会：** 7月27日（木）12:30～13:30（本館2F 銀杏）
- **その他：** 当日会場にて、無線 LAN でインターネットが使用できます（使用無料）
喫煙場所：本館 B1F エレベータ前／本館 3 階 おしどりの間前
- **お 願 い：** 暑さをしのぎやすい軽装でお越しください。

会場内での録音、写真、およびビデオ撮影は、いかなる場合も禁止されております。
ただし、学術展示の発表者がご自身のポスターの前で記念撮影することは可能です。
また、携帯電話は、マナーモードに設定していただくか、電源をお切り下さい。

会場のご案内

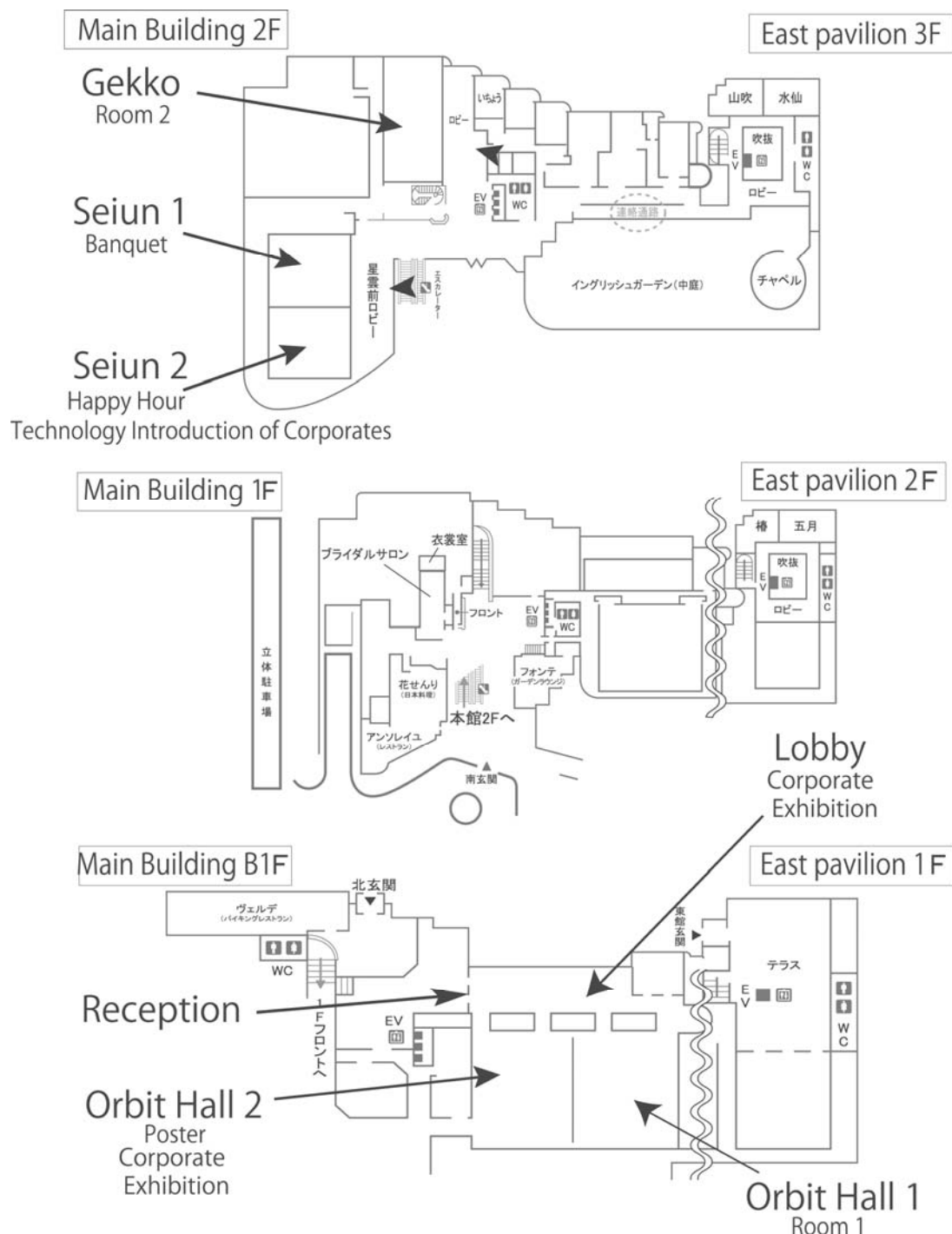
受付・・・・・・本館B1F「オービットホール」前ロビー
 会場１・・・・・・本館B1F「オービットホール1」
 会場２・・・・・・本館２F「月光」
 ポスター会場・本館B1F「オービットホール2」
 企業展示・・・・本館B1F「オービットホール」前ロビー,「オービットホール2」
 懇親会会場・・本館２F「星雲」



注意事項：ネームカードは会期中、常にご着用下さい。着用されていない方の入場はお断り
 いたします。講演者、座長、主催者の了解なく、講演やポスター発表の写真撮影、
 ビデオ撮影、録音はご遠慮下さい。

Room Guide of Conference Hall

Reception	Main Building B1F Lobby
Room1	Main Building B1F "Orbit Hall 1"
Room2	Main Building 2F "Gekko"
Poster	Main Building B1F "Orbit Hall 2"
Corporate Exhibition . .	Main Building B1F Lobby and "Orbit Hall 2"
Banquet	Main Building 2F "Seiun "



E 英語セッション

26日(水)

9

10

11

12

13

会場1

(オービットホール1)

0LS-1
ランチョンセミナー
島津製作所
講演者: 松田史生

12:30-13:25
Abstract p 129

27日(木)

9

10

11

12

13

会場1

(オービットホール1)

1S-1
Clinical Proteomics
座長: 朝長 毅・本田 一文
講演者: 依田 里都子、高橋 枝里、増田万里、
足立淳、柳澤聖、中里雅光

9:30-11:30
Abstract p85-p90

1PL-1
Plenary Lecture
Akhilesh
Pandey
座長: 朝長 毅

11:30-12:10
Abstract p75

1LS-1
ランチョンセミナー
サーモフィッシュヤー
サイエンティフィック
講演者: 肥後 大輔

12:30-13:25
Abstract p 130

会場2

(月光)

1S-2 **Technological Advances**
座長: 木下 英司・田岡 万悟
講演者: 松本 雅記、田岡 万悟、木下 恵美子、
伴 涼太郎、大内 将吉、川島 祐介、
永井 千晶

9:30-11:30
Abstract p91-p97

1LS-2
ランチョンセミナー
コスモ・バイオ
講演者: Steven Pelech

12:30-13:25
Abstract p131

ポスター展示

企業展示

ポスター

(オービットホール2)

企業展示

(オービットホール前ロビー)

理事会
12:30-13:30
@銀杏

28日(金)

9

10

11

12

13

会場1

(オービットホール1)

2S-1 **Basic Biology2 (mammal)**
座長: 石濱 泰・木村 鮎子
講演者: 太田 信哉、木村 鮎子、
郭 浩根、津曲 和哉、
伊藤 慎悟

9:00-9:30
Abstract p78

9:30-10:45
Abstract p108-p112

2PL-2
Plenary Lecture
Steven Pelech
座長: 石濱 泰

10:45-11:25
Abstract p79

2LS-1
ランチョンセミナー
サイエックス
講演者: 白水 崇

11:45-12:40
Abstract p 132

会場2

(月光)

2S-2
Computational proteomics
座長: 河野 信・小林 大樹
講演者: 河野 信、奥田 修二郎、吉沢 明康、
守屋 勇樹、小林 大樹、Elguoshy Amr

9:00-10:45
Abstract p113-p118

2LS-2
ランチョンセミナー
バイオラッド
講演者: 中田 宣之

11:45-12:40
Abstract p 133

ポスター展示

企業展示

ポスター

(オービットホール2)

企業展示

(オービットホール前ロビー)

2P
ポスター発表
前半
12:50-13:20

12:50-13:50
Abstract p182-p217

14

15

16

17

18

19

20

OES

教育セミナー
講演者:磯山純子、増田豪、植田幸嗣、小形公亮、吉沢明康、鳴海良平

13:40-16:50
Abstract p135-p140

14

15

16

17

18

19

20

1PL-2

Plenary Lecture
Benjamin Cravatt
座長: 小田 吉哉

1S-3

Pharmacoproteomics & Drug Development

1PL-3

Plenary Lecture
Benjamin Ruprecht
座長:近藤 格

座長: 近藤 格・久保田 一石
講演者: 小松 徹、久保田 一石、
横田 博之、近藤 格

15:00-15:40

Abstract p76

15:50-16:20

Abstract p77

16:20-17:45

Abstract p98-p101

1S-4

Basic Biology 1 (non-mammal)

座長:小松 節子・紀藤 圭治
講演者:山口 淳二、谷内江 望、守屋 央朗、
矢崎 潤史、橋口 晶子、榊原 陽一

15:50-17:35

Abstract p102-p107

1P

ポスター発表
前半13:40-14:15
後半14:15-14:45

ポスター展示
企業展示

13:40-14:45
Abstract p142-p181

1N Happy Hour
新技術紹介
座長:横田 博之・
木村 弥生
@星雲

懇親会
@星雲

17:50-18:40
Abstract p219-p231

18:40-21:00

14

15

16

17

18

19

20

AW

総会・受賞講演
座長:平野 久
講演者:松本 雅記、太田 信哉、
鳴海 良平、奥田 修二郎

2S-3

Biobank & Body fluid

座長:山本 格・小寺義男
講演者:白水 崇、土田 祥央、小寺 義男、
村瀬 雅樹、平尾 嘉利

式 閉 会

14:00-15:45

Abstract p80 -p83

15:50-17:30

Abstract p 119-p123

2S-4 若手セッション
Systems Biology

座長:小川 寛之・松井 佑介
講演者:阿部 雄一、松井 佑介、
白石 友一、鈴木 絢子

15:50-17:20

Abstract p124-p127

2P

ポスター発表
後半
13:20-13:50

ポスター展示
企業展示

ポスター撤収
----->

E English Session

26(Wed)

Hall1
(Orbit Hall 1)

0LS-1
Luncheon Seminar
Shimadzu
Speaker:Matsuda F

12:30-13:25
Abstract p129

27(Thu)

Hall1
(Orbit Hall 1)

1S-1
Clinical Proteomics
Chair:Tomonaga T, Honda K
Speaker: Hioki Y, Takahashi E, Masuda M,
Adachi J, Yanagisawa K, Nakazato M

9:30-11:30
Abstract p85-90

1PL-1
Plenary Lecture
Akhilesh
Pandey
Chair:Tomonaga T

11:30-12:10
Abstract p75

1LS-1
Luncheon Seminar
Thermo Fisher
Scientific
Speaker:Higo D

12:30-13:25
Abstract p130

Hall2
(Gekko)

1S-2
Technological Advances
Chair:Kinoshita,E Taoka M
Speaker: Matsumoto M, Taoka M, Kinoshita E, Ban R,
Ohuchi S, Kawashima Y, Nagai-Okatani C

9:30-11:30
Abstract p91-97

1LS-2
Luncheon Seminar
COSMO BIO
Speaker:Pelech S

12:30-13:25
Abstract p131

Posters
(Orbit Hall 2)
Exhibition
(Orbit Hall Lobby)

Posters
Exhibition

Board Meeting
12:30-13:30
@Icho

28(Fri)

Hall1
(Orbit Hall 1)

2PL-1
Plenary
Lecture
Cheolju
Lee
Chair:
Ishihama Y

9:00-9:30
Abstract p78

2S-1
Basic Biology2 (mammal)
Chair: Ishihama Y, Kimura A
Speaker:Ohta S, Kimura A,
Kwak HG,
Tsumagari K, Ito S

9:30-10:45
Abstract p108-p112

2PL-2
Plenary Lecture
Steven Pelech
Chair: Ishihama Y

10:45-11:25
Abstract p79

2LS-1
Luncheon Seminar
Sciex
Speaker:Shiromizu T

11:45-12:40
Abstract p132

Hall2
(Gekko)

2S-2
Computational proteomics
Chair:Kawano S, Kobayashi D
Speaker:Kawano S, Okuda S, Yoshizawa A,
Moriya Y, Kobayashi D, Elguoshy A

9:00-10:45
Abstract p113-p118

2LS-2
Luncheon Seminar
BioRad
Speaker:Nakata N

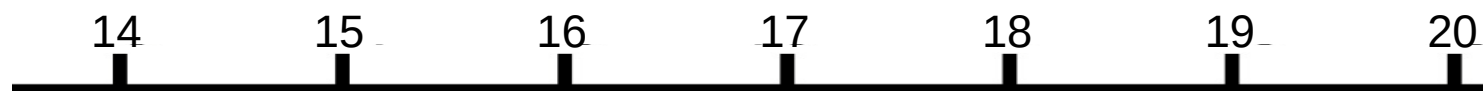
11:45-12:40
Abstract p133

Posters
(Orbit Hall 2)
Exhibition
(Orbit Hall Lobby)

Posters
Exhibition

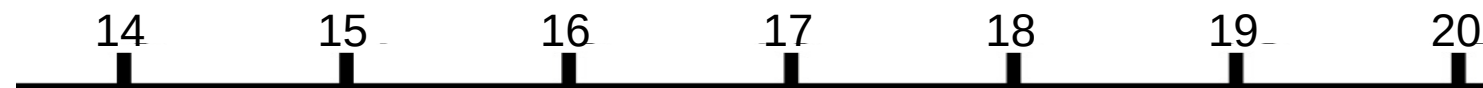
2P
Poster Presentation
1st half :
12:50-13:20

12:50-13:50
Abstract p182-p217



OES
Educational Seminar
Speaker: Isoyama J, Masuda T, Ueda K, Ogata K, Yoshizawa A, Narumi R

13:40-16:50
Abstract p135-p140



1PL-2 **E**
Plenary Lecture
Benjamin Cravatt
Chair: Oda Y

15:00-15:40
Abstract p76

1PL-3 **E**
Plenary Lecture
Benjamin Ruprecht
Chair: Kondo T

15:50-16:20
Abstract p77

1S-3 **E**
Pharmacoproteomics & Drug Development
Chair: Kondo T, Kubota K
Speaker: Komatsu T, Kubota K, Yokota H, Kondo T

16:20-17:45
Abstract p98-p101

1S-4
Basic Biology 1 (non-mammal)
Chair: Komatsu S, Kito K
Speaker: Yamaguchi J, Yachie N, Moriya H, Yazaki J, Hashiguchi A, Kaminaka S

15:50-17:35
Abstract p102-p107

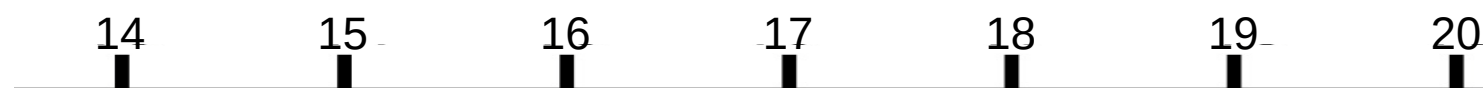
1P Poster Presentation 1 st half: 13:40-14:15 2 nd half: 14:15-14:45	Posters Exhibition
--	---

13:40-14:45
Abstract p142-p181

1N Technology Introduction of Corporates Chair: Yokota H, Kimura Y @Seiun	Banquet @Seiun
---	------------------------------

17:50-18:40
Abstract p219-p231

18:40-21:00



AW
General Meeting, Award Lectures
Chair: Hirano H
Speaker: Matsumoto M, Ohta S, Narumi R, Okuda S

14:00-15:45
Abstract p80-p83

2S-3 Biobank & Body fluid Chair: Yamamoto T, Kodera Y Speaker: Shiromizu T, Tsuchida S, Kodera Y, Murase M, Hirao Y	Closing Ceremony
---	-------------------------

15:50-17:30
Abstract p119-p123

2S-4 Young Scientist Session
Systems Biology
Chair: Ogawa T, Matsui Y
Speaker: Abe Y, Matsui Y, Shiraishi Y, Suzuki A

15:50-17:20
Abstract p124-p127

2P Poster Presentation 2 nd half: 13:20-13:50	Posters Exhibition
---	---

Poster Removal
----->

口頭発表について

口頭発表： 会場 1:本館B1F「オービットホール1」, 会場 2：本館 2F「月光」
招待講演： 30分-40分
受賞講演： 学会賞 20分、奨励賞 10分
シンポジウム：10分-30分
教育セミナー：30分
*講演時間終了3分前および終了時にベルが鳴ります。

演者の方へ

全てのご発表には、演者のPCを使用します。講演会場のPC受付(会場ステージ下左側)には、15分前までにおいでいただき、接続をチェックしてください。また万一のため、データをUSBメモリでご持参ください。講演時間終了3分前および終了時にベルが鳴ります。講演時間をお守りください。

*ご持参いただくノートPCについては、以下の項目をご確認ください。

- ① スクリーンセーバー、省電力設定、パスワード等は必ず解除してください。
- ② 電源アダプターをお持ちください。
- ③ 会場の液晶プロジェクターとの接続は、ミニD-Sub15ピンケーブルでの接続となります。一部の機種では、パソコン附属のアダプターが必要となる場合がありますので、忘れずにご持参ください。特にMacをご使用の方は、ご注意ください。



パソコン側



ケーブル側

Presentation Guidelines

Oral Presentations

(Room 1: Orbit Hall B1F, Room 2: Gekko 2F)

Plenary lecture: 30-40 min (incl. discussion)

Award lecture: 20 min, Young investigator award lecture: 10 min

Symposium: 10-30 min (incl. discussion)

Educational seminar: 30 min (incl. discussion)

* Time keeper will ring the bell three minutes before and at the end of the presentation.

Please bring your PC to PC reception desk (left front of the room for your session) at least 15 minutes prior to your presentation.

The organizing committee recommends the speakers to use their own laptop computers with an analog VGA (mini D-SUB 15pin) connector for data projection, to avoid trouble due to incompatibility. Please bring the AC power adaptor for your computer. A VGA cable is prepared for use. Make sure to test your data projection in the session room during the break time just before your session.

座長の方へ

ご担当のシンポジウムが始まる15分前には会場にお越しください。タイムキーパーは事務局側でご用意しますが、進行並びに最終的な時間管理は座長に一任いたします。スケジュールがタイトですので、時間厳守をお願いいたします。

ポスター発表について

ポスター会場は本館B1F「オービットホール2」です。
ポスターボードの大きさは幅90cm、高さ210cmです。
画鋏またはベルクロテープでの貼り付けになります。

ポスター設置日時

7月27日（木）9：00～9：30

ポスター掲示日時

7月27日（木）9：00～7月28日（金）17：00（2日間）

ポスター発表形式・時間（インデキシング形式）

ポスター発表は座長の進行のもと、以下の時間中に発表・討論を行います。

1P……1日目 7月27日（木）13:40～14:45

2P……2日目 7月28日（金）12:50～13:50

各演者 発表3分 討論2分です。

ポスター発表の方へ

開始5分前までにご自身のポスター前に待機してください。

ポスター発表の中からベストポスター賞を選び、大会最終日に表彰します。

ポスターの撤去は以下の時間に撤去してください。

2日目 7月28日（金）16:00～17：00

撤去されないポスターは、事務局で処分いたしますので、予めご了承ください。

インデキシング座長の方へ

両日ともに前半と後半に分かれてポスターディスカッションを行います。

1日目 7月27日（木）前半 13:40～14:15 後半 14:15～14:45

2日目 7月28日（金）前半 12:50～13:20 後半 13:20～13:50

開始5分前までにご担当のポスター前に待機してください。

演者の発表時間は 発表3分 討論2分です。進行は座長にご一任いたします。

Information for poster presenters

Poster

Poster board size is 90 cm wide and 210 cm high. Posters must be in place on the scheduled day (the poster number is indicated at the top of the board).

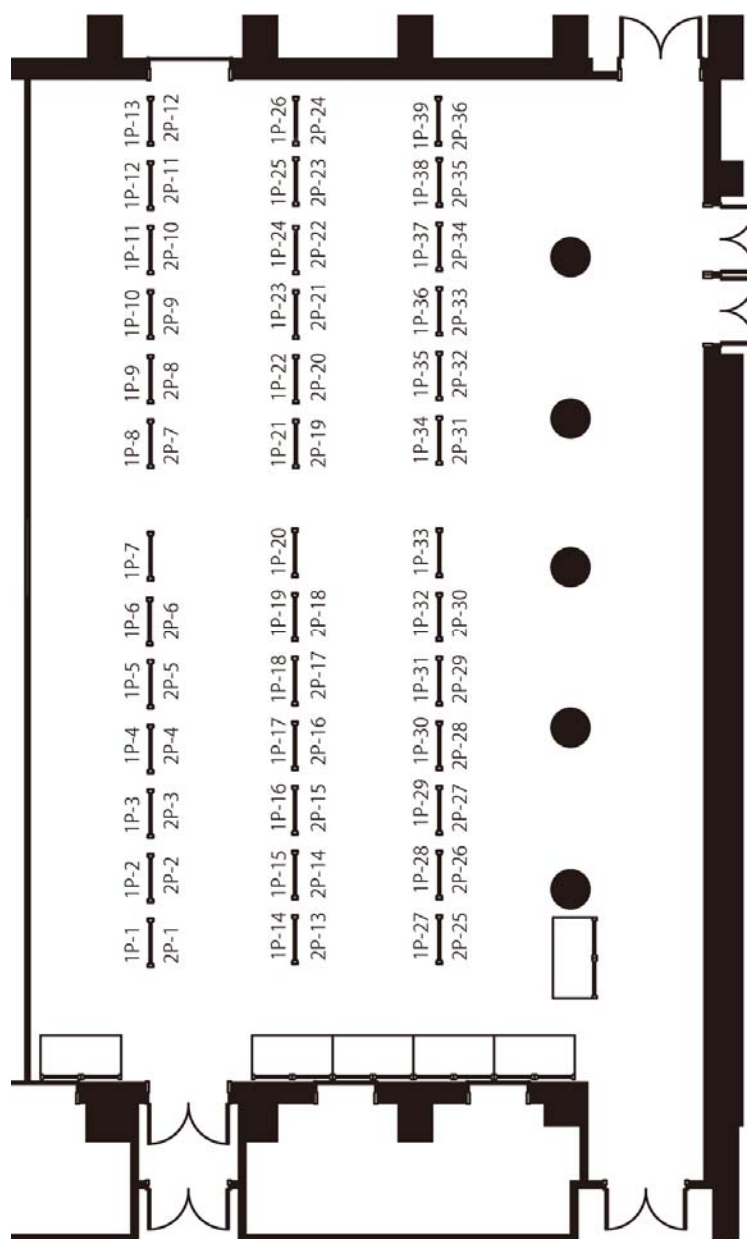
From Thursday, July 27, 9:00 to Friday, July 28, 17:00 (2 days)

Poster Attendance

Presenters should attend their posters on Thursday, July 27: 13:40-14:45 (1P) or on Friday, July 28: 12:50-13:50 (2P).

ポスター会場案内図 Poster Exhibition

本館B1F「オービットホール2」
Main Building B1F "Orbit Hall 2"



日本プロテオーム学会 2017 大会 JHUPO 第 15 回大会

大会組織委員会

組織委員会

朝長 毅 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
石濱 泰 (京都大学)
小寺 義男 (北里大学)
木下 英司 (広島大学)
松本 雅記 (九州大学)
榊原 陽一 (宮崎大学)
中神 弘史 (理化学研究所)
尾野 雅哉 (国立がん研究センター研究所)
上家 潤一 (麻布大学)
山本 格 (新潟大学)
本田 一文 (国立がん研究センター研究所)
木村 弥生 (横浜市立大学)
梶 裕之 (産業技術総合研究所)
植田 幸嗣 (がん研究会)
長野 光司 (中外製薬株式会社)
成松 久 (産業技術総合研究所)
小松 節子 (農研機構作物研究所)
横田 博之 (株式会社アステラス製薬)
服部 成介 (北里大学薬学部)
高山 光男 (横浜市立大学)
曾川 一幸 (麻布大学)
足立 淳 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
久保田一石 (第一三共 RD ノバーレ株式会社)
川上 隆雄 (株式会社メディカル・プロテオスコープ)
和田 芳直 (大阪府立母子保健総合医療センター)

プログラム委員会

委員長 足立 淳 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
委 員 石濱 泰 (京都大学)
委 員 小寺 義男 (北里大学)

事務局

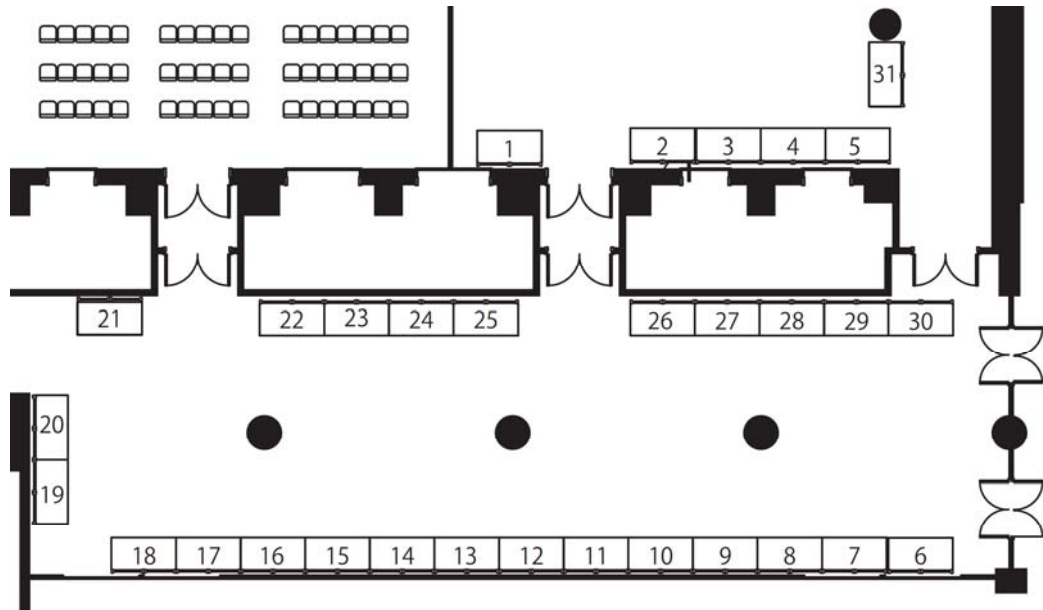
事務局長 足立 淳 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
事務局員 白水 崇 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
同 阿部 雄一 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
同 鳴海 良平 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
同 兵頭 聖子 (医薬基盤・健康・栄養研究所)

企業展示レイアウト

本館B1Fオービットホール前ロビー／オービットホール2

Corporate Exhibition

Main Building B1F Lobby and "Orbit Hall 2"



- | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| ①(株)ナード研究所 | ②①ディー・アール・シー(株) |
| ②(株)スクラム | ②②(株)エービー・サイエックス |
| ③(一財)化学物質評価研究機構 | ②③ハミルトン・カンパニー・ジャパン(株) |
| ④大塚製薬(株) | ②④(株)ケーワイエーテクノロジーズ |
| ⑤マトリックスサイエンス(株) | ②⑤コスモ・バイオ(株) |
| ⑥エーエムアール(株) | ②⑥サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) |
| ⑦(株)アプロサイエンス | ②⑦(株)KMデータ |
| ⑧(株)セルフリーサイエンス | ②⑧(株)メディカル・プロテオスコープ/
理科研株式会社(JV出展) |
| ⑨インフォコム(株) | ②⑨多摩川精機(株)バイオトロニクス研究所 |
| ⑩信和化工(株) | ③⑩バイオ・ラッドラバトリーズ(株) |
| ⑪SCSK(株) | ③⑪JPOST |
| ⑫コーンズテクノロジー(株) | |
| ⑬(株)グライナー・ジャパン | |
| ⑭フィルジェン(株) | |
| ⑮大陽日酸(株) | |
| ⑯BMG LABTECH ジャパン | |
| ⑰ジーエルサイエンス(株) | |
| ⑱ブルカー・ダルトニクス(株) | |
| ⑲sainome(株) | |
| ⑳(株)島津製作所 | |

企業技術紹介 プログラム

Technology Introduction of
Corporate

7月27日（木曜日） July 27 (Thu)

本館 2F 星雲 2

17:50 ～ 18:40

企業技術紹介/ Technology Introduction of Corporates

座長： 横田 博之（アステラス製薬）
木村 弥生（横浜市立大学）

1N-01	17:50	～	17:52	BMG LABTECH ジャパン
1N-02	17:52	～	17:54	株式会社 KM データ
1N-03	17:54	～	17:56	sainome 株式会社
1N-04	17:56	～	17:58	SCSK 株式会社
1N-05	17:58	～	18:00	株式会社アプロサイエンス
1N-06	18:00	～	18:02	インフォコム株式会社
1N-07	18:02	～	18:04	エーエムアール株式会社
1N-08	18:04	～	18:06	大塚製薬株式会社
1N-09	18:06	～	18:08	一般財団法人 化学物質評価研究機構
1N-10	18:08	～	18:10	株式会社グライナー・ジャパン
1N-11	18:10	～	18:12	株式会社ケーワイエーテクノロジーズ
1N-12	18:12	～	18:14	コーンズテクノロジー株式会社
1N-13	18:14	～	18:16	ジーエルサイエンス株式会社
1N-14	18:16	～	18:18	信和化工株式会社
1N-15	18:18	～	18:20	株式会社スクラム
1N-16	18:20	～	18:22	株式会社セルフリースサイエンス
1N-17	18:22	～	18:24	大陽日酸株式会社
1N-18	18:24	～	18:26	多摩川精機株式会社 バイオトロニクス研究所
1N-19	18:26	～	18:28	ディー・アール・シー株式会社
1N-20	18:28	～	18:30	株式会社ナード研究所
1N-21	18:30	～	18:32	ハミルトン・カンパニー・ジャパン株式会社
1N-22	18:32	～	18:34	フィルジェン株式会社
1N-23	18:34	～	18:36	ブルカー・ダルトニクス株式会社
1N-24	18:36	～	18:38	マトリックスサイエンス株式会社
1N-25	18:38	～	18:40	株式会社メディカル・プロテオスコープ /理科研株式会社(JV 出展)

Happy Hour

企業の方々と大学・機関の研究者が和やかな雰囲気の中、自由に議論するためのセッションです。ドリンクとおつまみを用意します。

This event is intend to promote discussions among participants from universities, institutes, and companies in a relaxed atmosphere. Free drink and light snack will be served.

招待講演・受賞講演
プログラム

Plenary Lectuer and
Award Lecture Program

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

会場 1 (オービットホール 1)

11:30 ~ 12:10

1PL-1 招待講演 1 / Plenary Lecture 1

座長：朝長 毅 (医薬基盤・健康・栄養研究所)

1PL-1 Improved sensitivity and specificity of proximity-dependent
11:30 ~ 12:10 biotinylation approaches for interactomics

○Akhilesh Pandey
Johns Hopkins University School of Medicine

15:00 ~ 15:40

1PL-2 招待講演 2 / Plenary Lecture 2

座長：小田 吉哉 (エーザイ株式会社)

1PL-2 Activity-based proteomics – protein and ligand discovery on a
15:00 ~ 15:40 global scale

○Benjamin F. Cravatt
The Scripps Research Institute

15:50 ~ 16:20

1PL-3 招待講演 3 / Plenary Lecture 3

座長：近藤 格 (国立がん研究センター研究所)

1PL-3 Mass spectrometry-based (phospho)proteomics uncovers
15:50 ~ 16:20 mechanisms of intrinsic and acquired drug resistance

○Benjamin Ruprecht^{1,*}, Chen Meng¹, Martin Frejno¹, Jana Zecha¹,
Esther A. Zaal², Alexander Högberg², Wei Wu², Celia Berkers²,
Simone Lemeer^{1,2}, Bernhard Küster¹
Technical University of Munich¹, Utrecht University²
*Current address: Merck Research Laboratories

7 月 28 日 (金曜日) July 28 (Fri)

会場 1 (オービットホール 1)

9:00 ~ 9:30

2PL-1 招待講演 4 / Plenary Lecture 4

座長：石濱 泰 (京都大学)

2PL-1 Mass spectrometric analysis of cell line secretome and its
9:00 ~ 9:30 application to biomarker discovery

○Cheolju Lee

Korea Institute of Science and Technology

10:45 ~ 11:25

2PL-2 招待講演 5 / Plenary Lecture 5

座長：石濱 泰 (京都大学)

2PL-2 Structure-function Analyses of the Catalytic Domains of Eukaryotic
10:45 ~ 11:25 Protein Kinases

○Steven Pelech^{1,2}, Shenshen Lai², Javad Safaei², Lambert Yue²

Kinexus Bioinformatics Corporation¹, University of British Columbia²

7 月 28 日（金曜日） July 28 (Fri)

会場 1 （オービットホール 1）

14:55 ～ 15:45

受賞講演 /Award Lecture

座長：平野 久（横浜市立大学）

- AW-1** 定量プロテオミクス技術の開発と応用に関する研究
14:55 ～ 15:15 Development of Quantitative Proteomics Technologies and Applications
- 松本 雅記
九州大学・生体防御医学研究所
- AW-2** 分裂期クロマチンのプロテオミクス解析
15:15 ～ 15:25 Proteomics analysis of mitotic chromosomes
- 太田 信哉
高知大学 医学部 生化学講座
- AW-3** 無細胞合成ペプチドを利用したターゲットドプロテオミクスによる絶対定量法
15:25 ～ 15:35 Targeted proteomics based absolute quantification using cell-free synthesized peptides
- 鳴海 良平
医薬基盤・健康・栄養研究所 プロテオームリサーチプロジェクト
- AW-4** プロテオームデータの統合化とバイオインフォマティクス解析
15:35 ～ 15:45 Integration of Proteome Data and Bioinformatics Analysis
- 奥田 修二郎¹
新潟大学・医歯学総合研究科¹

シンポジウム
プログラム

Symposium Program

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

会場 1 (オービットホール 1)

9:30 ~ 11:30

シンポジウム 1S-1 / Symposium 1S-1

座長: 朝長 毅 (医薬基盤・健康・栄養研究所)

本田 一文 (国立がん研究センター研究所)

Clinical Proteomics

- 1S-1-1 ヒト脳脊髄液中 Tau タンパク質の高感度質量分析とアイソフォーム
(1P-13) ム識別部位の定量
9:30 ~ 9:40 Highly Sensitive Mass Spectrometric Analysis of Tau Protein in
Human Cerebrospinal Fluid and Quantitation of Isoform
Discrimination Site

日置 雄策・金子 直樹・○依田 里都子・関谷 禎規・岩本 慎一・田中耕一
株式会社島津製作所 田中耕一記念質量分析研究所

- 1S-1-2 尿プロテオーム解析により同定された afamin の糖尿病腎症進行予
(2P-06) 測マーカーとしての可能性
9:40 ~ 9:50 Urinary Afamin Levels are Associated with the Progression of
Diabetic Nephropathy

○高橋 枝里¹・久保田 浩之¹・梶尾 裕¹・山下 滋雄²・本田 律子¹・
志賀 智子¹・野田 光彦³・鎗木 康志¹
国立国際医療研究センター¹・JR 東京総合病院²・埼玉医科大学³

- 1S-1-3 Wnt シグナルを標的とする新規 TNIK 阻害剤開発へのプロテオーム
9:50 ~ 10:15 解析技術の応用
Application of Proteomic Technology in Development of Novel
TNIK Inhibitor Blocking Wnt Signaling

○増田 万里¹・宇野 佑子²・柏本 茂樹²・森山 英樹²・澤 匡邦²・
山田 哲司¹
国立がん研究センター研究所¹・カルナバイサイエンス株式会社²

7 月 27 日（木曜日） July 27 (Thu)

会場 1 （オービットホール 1）

9:30 ～ 11:30

シンポジウム 1S-1 / Symposium 1S-1

座長： 朝長 毅（医薬基盤・健康・栄養研究所）

本田 一文（国立がん研究センター研究所）

10:15 ～ 10:40 **1S-1-4** リン酸化プロテオミクスによるエルロチニブ耐性非小細胞肺癌の
性状解析及び創薬標的探索
Phosphoproteomics of NSCLC cells treated with erlotinib reveals
drug-resistant signatures and potential targets

○足立 淳・阿部 雄一・長野 麻衣子・岸田 満里奈・佐藤 彩子・
磯山 純子・朝長 毅
医薬基盤・健康・栄養研究所

10:40 ～ 11:05 **1S-1-5** プロテオミクス解析による非小細胞肺がんのバイオマーカー探索
Proteomic identification of potential biomarkers of human
non-small cell lung cancer

○柳澤 聖
名古屋大学大学院医学系研究科

11:05 ～ 11:30 **1S-1-6** Development of early diagnostic biomarkers of lung cancer and
pancreatic cancer by the detection of cancer-derived protein
fragments in urine using the original MRM method

○中里 雅光
Neurology, Respiriology, Endocrinology and Metabolism, Internal Madicine,
University of Miyazaki

7 月 27 日（木曜日） July 27 (Thu)

会場 2 （月光）

9:30 ～ 11:30

シンポジウム 1S-2 / Symposium 1S-2

座長： 木下 英司（広島大学）
田岡 万悟（首都大学東京）

Technological Advances

1S-2-1 iMPAQT:ヒト in vitro プロテオームに基づく大規模ターゲットプロ
9:30 ～ 9:57 テオミクス解析基盤
iMPAQT: A Platform for Large-Scale Targeted Proteomics Based on
an in Vitro Human Proteome

○松本 雅記¹・中山 敬一²

九州大学 生体防御医学研究所、プロテオミクス分野¹・九州大学 生体防御医学
研究所、分子医科学分野²

1S-2-2 リボヌクレオプロテオミクス解析：質量分析を基礎とした網羅的な
9:57 ～ 10:23 RNA 転写後修飾解析法の開発
Ribonucleoproteomics analysis: MS-based method for
post-transcriptional modifications of RNAs

○田岡 万悟^{1,3}・中山 洋^{2,3}・延 優子^{1,3}・山内 芳雄^{1,3}・磯辺 俊明^{1,3}

首都大学東京 大学院理工学研究科¹・理化学研究所 環境資源科学研究センター²・CREST³

1S-2-3 タンパク質のリン酸化分子種全体を見える化する Phos-tag
10:23 ～ 10:50 SDS-PAGE
Phos-tag SDS-PAGE that permits the visualization of the entire
protein phosphospecies

○木下 恵美子

広島大学大学院 医歯薬保健学研究科

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

会場 2 (月光)

9:30 ~ 11:30

シンポジウム 1S-2 / Symposium 1S-2

座長: 木下 英司 (広島大学)
田岡 万悟 (首都大学東京)

1S-2-4 DIA 法を用いたハイスループットな血清プロテオーム解析
(1P-36) Data independent acquisition mass spectrometry for high
10:50 ~ 11:00 throughput serum proteomic strategy

○伴 涼太郎^{1,2}・中居 佑介²・井野 洋子²・宮本 優子²・香川 裕之²・Frank
Schmidt³・平野 久²・木村 弥生²
横浜市立大学大学院 生命医科学研究科¹・横浜市立大学 先端医科学研究センタ
ー²・University Medicine Greifswald³

1S-2-5 半導体発振の空洞共振装置によるプロテオミクスのためのマイク
(1P-24) 口波照射前処理
11:00 ~ 11:10 Microwave-Assisted Pretreatment for Proteomics by Cavity
Resonance Device with Semiconductor Oscillation

青木 富士子・平坂 建樹・吉村 武朗・○大内 将吉
九州工業大学生命情報工学科

1S-2-6 無孔性逆相カラムを用いた高感度プロテオーム解析システムの構
(1P-22) 築
11:10 ~ 11:20 Development of nanoLC-MS/MS with nonporous reverse phase
column for high-sensitive proteome analysis

○川島 祐介¹・小原 収^{1,2}
理化学研究所統合生命医科学研究センター¹・かずさ DNA 研究所²

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

会場 2 (月光)

9:30 ~ 11:30

シンポジウム 1S-2 / Symposium 1S-2

座長： 木下 英司 (広島大学)
田岡 万悟 (首都大学東京)

1S-2-7 レーザーマイクロダイセクション – レクチンマイクロアレイによるマウス組織グライコームマッピング
(1P-27)

11:20 ~ 11:30 Mouse tissue glycome mapping by laser microdissection and lectin microarray

○岡谷(永井) 千晶¹・角田 修一¹・Xia Zou²・吉田 真樹¹・佐藤 隆¹・
松田 厚志³・萩原 梢¹・清原 克恵¹・板倉 陽子⁴・野呂 絵里花¹・
豊田 雅士⁴・Yan Zhang²・成松 久¹・久野 敦¹

産業技術総合研究所創薬基盤研究部門¹・上海交通大学上海系統生物医学研究
センター²・慶応大学医学部医化学³・東京都健康長寿医療センター研究所血管医学研究⁴

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

会場 1 (オービットホール 1)

16:20 ~ 17:45

シンポジウム 1S-3 / Symposium 1S-3

座長： 近藤 格 (国立がん研究センター研究所)

久保田 一石 (第一三共 RD ノバーレ株式会社)

Pharmacoproteomics & Drug Development

1S-3-1 Diced Electrophoresis Gel (DICE) 法を用いた癌細胞における活性
(1P-20) 異常酵素の探索

16:20 ~ 16:30 Discovery of tumor-associated aberrant activities of enzymes with
enzymomics approach

○小松 徹¹・小名木 淳¹・市橋 裕樹¹・浦野 泰照^{1,2,3}

東京大学大学院薬学系研究科¹・東京大学大学院医学系研究科²・AMED-CREST³

1S-3-2 医薬品研究開発におけるプロテオミクスの応用

16:30 ~ 16:55 Applications of proteomics for drug discovery and development

○久保田 一石

第一三共 RD ノバーレ株式会社 創薬基盤研究部

1S-3-3 Proteomics Strategies and Applications in Pharmaceutical

16:55 ~ 17:20 Company

○横田 博之

アステラス製薬 研究本部

1S-3-4 Proteomics in rare cancer research

17:20 ~ 17:45

○近藤 格

国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野

7 月 27 日（木曜日） July 27 (Thu)

会場 2 （月光）

15:50 ～ 17:35

シンポジウム 1S-4 / Symposium 1S-4

座長： 小松 節子（筑波大学）

紀藤 圭治（明治大学）

Basic Biology 1(non-mammal)

1S-4-1 プロテオーム解析によるユビキチン修飾を介した植物環境適応機構の解明
15:50 ～ 16:15

Environmental Adaptation in Plants Mediated by Ubiquitin Modification that was Revealed by Proteome Analysis

○山口 淳二・佐藤 長緒

北海道大学大学院理学研究院/生命科学院

1S-4-2 DNA バーコードによる分子・細胞動態計測の加速
16:15 ～ 16:40 DNA barcode technologies to facilitate measuring molecular and cellular dynamics

○谷内江 望

東京大学先端科学技術研究センター

1S-4-3 摂動実験により探るプロテオームの拘束条件
16:40 ～ 17:05 Constraints of proteome revealed by a perturbation analysis

○守屋 央朗

岡山大学異分野融合先端研究コア/環境生命科学研究科

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

会場 2 (月光)

15:50 ~ 17:35

シンポジウム 1S-4 / Symposium 1S-4

座長： 小松 節子 (筑波大学・農研機構)
紀藤 圭治 (明治大学)

- 1S-4-4** 新規合成型 HaloTag プロテインアレイ技術を利用した転写因子相
(1P-18) 相互作用ネットワーク解析
17:05 ~ 17:15 Mapping transcription factor networks using HaloTag protein
arrays

○矢崎 潤史
理化学研究所・統合生命医科学研究センター

- 1S-4-5** ニトロシル化解析から探る冠水ストレス下のエネルギー産生に対
(1P-16) する一酸化窒素の役割
17:15 ~ 17:25 S-nitrosoproteomic Analysis on the Role of Nitric Oxide in Energy
Production under Flooding Stress

○橋口 晶子¹・小松 節子^{2,3}
筑波大学医学医療系¹・筑波大学生命環境系²・農業・食品産業技術総合研究機
構 次世代作物開発研究センター³

- 1S-4-6** PAPS 合成酵素アイソフォームの生理機能解明
(1P-15) Physiological functions of distinct PAPS synthetase isoforms
17:25 ~ 17:35
上中 勝護¹・山下 光恵¹・黒木 勝久¹・上地 珠代²・剣持 直哉²・Ming-Cheh Liu³・
水光 正仁¹・○榊原 陽一¹
宮崎大学農学部応用生物科学科¹・宮崎大学フロンティア科学実験総合センター²・
トレド大学薬学部³・

7 月 28 日 (金曜日) July 28 (Fri)

会場 1 (オービットホール 1)

9:30 ~ 10:45

シンポジウム 2S-1 / Symposium 2S-1

座長: 石濱 泰 (京都大学)

木村 鮎子 (横浜市立大学)

Basic Biology 2 (mammal)

2S-1-1 Quantitative proteomics revealed that BAZ1 proteins regulate the
9:30 ~ 10:00 precious timing of chromosome condensation in early mitosis

○太田 信哉

高知大学医学部生化学講座

2S-1-2 クロマチン再構成因子のリン酸化部位特異的変異の効果
10:00 ~ 10:15 Effects of Phosphorylation Site-Specific Mutations in a Chromatin
Remodeling Component

○木村 鮎子・中林 潤・田村 智彦・木村 弥生・平野 久

横浜市立大学 先端医科学研究センター

2S-1-3 Characterization of histone H3 post-translational modifications for
(2P-19) providing epigenetic information
10:15 ~ 10:25

○Ho-Geun Kwak・Takehiro Suzuki・Naoshi Dohmae

Biomolecular Characterization Unit, RIKEN CSRS

7 月 28 日（金曜日） July 28 (Fri)

会場 1 （オービットホール 1）

9:30 ～ 10:45

シンポジウム 2S-1 / Symposium 2S-1

座長： 石濱 泰（京都大学）

木村 鮎子（横浜市立大学）

2S-1-4 エクトドメインシェディング切断部位の網羅的同定

(2P-27) Toward Comprehensive Identification of Cleavage Sites Generated
by Ectodomain Shedding

10:25 ～ 10:35

○津曲 和哉・山本 英人・張 智翔・杉山 直幸・石濱 泰
京都大学大学院薬学研究科

2S-1-5 オーフアントランスポーターSLC22A18 のタンパク質翻訳後修飾
(2P-22) への関与

10:35 ～ 10:45

Involvement of orphan transporter SLC22A18 in the
post-translational modification of proteins in 293 cells

○伊藤 慎悟^{1,2,3}・本多 玄太郎²・赤澤 貴憲⁴・寺崎 哲也⁴・大槻 純男^{1,2,3}
熊本大学大学院生命科学研究部(薬)¹・熊本大学薬学部²・AMED-CREST³・東北大
学大学院薬学研究科⁴

7 月 28 日（金曜日） July 28 (Fri)

会場 2 （月光）

9:00 ～ 10:45

シンポジウム 2S-2/ Symposium 2S-2

座長： 河野 信（情報・システム研究機構）

小林 大樹（熊本大学）

Computational proteomics

2S-2-1 プロテオームデータの標準化とデータベースの世界動向

9:00 ～ 9:15 The Global Trends of Proteome Data Standards and Databases

○河野 信^{1,2}

情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設ライフサイエンス統合データベースセンター¹・科学技術振興機構バイオサイエンスデータベースセンター²

2S-2-2 プロテオーム統合データベース jPOST：質量分析データ・リポジトリ
(2P-16)

9:15 ～ 9:25 Integrated Database for Proteomes jPOST: Mass spectrometry Data Repository

○奥田 修二郎¹・○渡辺 由¹・守屋 勇樹²・河野 信²・山本 格³・

松本 雅紀⁴・高見 智代⁴・小林 大樹⁵・荒木 令江⁵・吉沢 明康⁶・

田畑 剛⁶・杉山 直幸⁶・田中 聡⁷・五斗 進²・石濱 泰⁶

新潟大学大学院医歯学総合研究科¹・情報・システム研究機構、データサイエンス共同利用基盤施設、ライフサイエンス統合データベースセンター²・新潟大学産学地域連携推進機構、生体液バイオマーカーセンター³・九州大学生体防御医学研究所、トランスオミクス医学研究センター⁴・熊本大学大学院生命科学研究部⁵・京都大学大学院薬学研究科⁶・Trans-IT⁷

7月28日（金曜日） July 28 (Fri)

会場2 (月光)

9:00 ~ 10:45

シンポジウム 2S-2/ Symposium 2S-2

座長： 河野 信（情報・システム研究機構）

小林 大樹（熊本大学）

2S-2-3 jPOST 再解析プロトコル：偽陽性と偽陰性の同時減少を目指す
9:25 ~ 9:55 Re-analysis Protocol in jPOST: Towards the Reduction Both of
False Positives and False Negatives

○吉沢 明康¹・田畑 剛¹・守屋 勇樹²・河野 信²・奥田 修二郎³・
渡辺 由³・山本 格⁴・松本 雅記⁵・高見 知代⁵・小林 大樹⁶・荒木 令江⁶・杉
山 直幸¹・田中 聡⁷・五斗 進²・石濱 泰¹
京都大学大学院薬学研究科¹・情報・システム研究機構ライフサイエンス統合デ
ータベースセンター²・新潟大学大学院医歯学研究科³・新潟大学生体液バイオマ
ーカーセンター⁴・九州大学生体防御医学研究所⁵・熊本大学大学院生命科学研究
部⁶・Trans-IT⁷

2S-2-4 jPOST: プロテオーム統合データベースの開発
(2P-18) jPOST: Development of Integrated Database for Proteomics
9:55 ~ 10:05

○守屋 勇樹¹・河野 信¹・奥田 修二郎²・渡辺 由²・山本 格³・松本 雅記⁴・
高見 知代⁴・小林 大樹⁵・荒木 令江⁵・吉沢 明康⁶・田畑 剛⁶・
杉山 直幸⁶・田中 聡⁷・五斗 進¹・石濱 泰⁶
情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 ライフサイエン
ス統合データベースセンター¹・新潟大学 大学院医歯学総合研究科 新領域開
拓研究センター²・新潟大学 産学地域連携推進機構 生体液バイオマーカーセ
ンター³・九州大学 生体防御医学研究所 トランスオミクス医学研究センター
⁴・熊本大学 大学院生命科学研究部 腫瘍医学⁵・京都大学 大学院薬学研究科
製剤機能解析学⁶・Trans-IT⁷

7 月 28 日 (金曜日) July 28 (Fri)

会場 2 (月光)

9:00 ~ 10:45

シンポジウム 2S-2/ Symposium 2S-2

座長： 河野 信 (情報・システム研究機構)

小林 大樹 (熊本大学)

2S-2-5 プロテオームデータにある生物学的な重要性を見出すための
10:05 ~ 10:35 “Computational” ツール
Computational tools to uncover the biological significances in
proteome data

○小林 大樹・荒木 令江

熊本大学大学院生命科学研究部腫瘍医学分野

2S-2-6 Comprehensive bioinformatic approach for analyzing and
(2P-17) detecting human missing proteins
10:35 ~ 10:45

○Amr Elguoshy^{1,2}・Yoshitoshi Hirao¹・Bo Xu¹・Suguru Saito¹・

Ali F. Quadery¹・Keiko Yamamoto¹・Toshiaki Mitsui²・Tadashi Yamamoto¹

Biofluid and Biomarker Center, Niigata University¹・Graduate School of Science
and Technology, Niigata University²

7 月 28 日（金曜日） July 28 (Fri)

会場 1 （オービットホール 1）

15:50 ～ 17:30

シンポジウム 2S-3 / Symposium 2S-3

座長： 山本 格（新潟大学）

小寺 義男（北里大学）

Biobank & Body fluid

2S-3-1 血中細胞外小胞を用いた新規大腸がんマーカー候補タンパク質の
15:50 ～ 16:15 探索とターゲットプロテオミクスによる評価
Identification and verification of CRC biomarkers in blood
extracellular vesicles by targeted proteomics

○白水 崇・石田 美海子・足立 淳・朝長 毅

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 プロテオームリサーチプロジ
ェクト

2S-3-2 保存された臨床検体（血清）の質量分析による劣化の評価
(2P-32) The effects of preanalytical variables on serum peptidome profiles
16:15 ～ 16:25 following long-term storage

○土田 祥央¹・佐藤 守¹・梅村 啓史²・曾川 一幸³・滝脇 正貴¹・

西村 基⁴・小寺 義男⁵・松下 一之⁴・野村 文夫^{1,4}

千葉大学医学部附属病院マススペクトロメトリー検査診断学¹・岡山大学大学院

医歯薬学総合研究科皮膚科学分野²・麻布大学臨床検査技術学科生化学教室³・

千葉大学医学部附属病院検査部/遺伝子診療部⁴・北里大学理学部物理学学科生物物
理学講座⁵

7 月 28 日 (金曜日) July 28 (Fri)

会場 1 (オービットホール 1)

15:50 ~ 17:30

シンポジウム 2S-3 / Symposium 2S-3

座長： 山本 格 (新潟大学)
小寺 義男 (北里大学)

2S-3-3 血清・血漿検体の品質評価マーカーの開発
16:25 ~ 16:50 Development of quality evaluation marker for serum/plasma specimens

○小寺 義男^{1,2}・白水 崇³・鷹野 宏美³・紺野 亮¹・中川 譲¹・七里 眞義⁴・朝長 毅³

北里大学理学部物理学科生物物理学講座¹、北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター²・医薬基盤・健康・栄養研究所³・北里大学医学部内分泌代謝内科学⁴

2S-3-4 標的修飾ペプチド・データベース検索による尿中ペプチドの網羅的
(2P-34) 同定
16:50 ~ 17:00 Urinary Peptidomic Identification Using Targeted Peptide/PTM Database Search

○村瀬 雅樹・福山 裕子・日置 雄策・山田 賢志・児嶋 浩一・岩本 慎一・田中 耕一

株式会社 島津製作所

2S-3-5 尿からの新規バイオマーカー探索：網羅的プロテオミクス・ペプチ
ドミクス
17:00 ~ 17:25 Comprehensive analysis of discovering biomarker from human urine

○平尾 嘉利・Amr Elguoshy・許 波・齋藤 卓・Ali F. Quadery・

山本 恵子・山本 格

新潟大学・生体液バイオマーカーセンター

7 月 28 日 (金曜日) July 28 (Fri)

会場 2 (月光)

15:50 ~ 17:20

シンポジウム 2S-4 / Symposium 2S-4

座長： 小川 寛之 (東京大学)
松井 佑介 (名古屋大学)

Systems Biology

2S-4-1 リン酸化プロテオゲノミクスにより暴かれる淡明腎細胞がん
(1P-10) Kinotype と層別化治療戦略の構築
15:50 ~ 16:10 Precision medicine based on Kinotype of clear cell renal cell carcinoma with phospho-proteogenomics

○阿部 雄一¹・松井 佑介²・植村 元秀³・多田 亜沙¹・足立 淳¹・朝長 毅¹
医薬基盤・健康・栄養研究所、プロテオームリサーチプロジェクト¹・名古屋大学医学系研究科²・大阪大学医学系研究科³

2S-4-2 ロジックモデルによるプロテオゲノミクスデータの解析
16:10 ~ 16:30 Analysis of proteogenomic data with logic model

○松井 佑介¹・阿部 雄一²・宮野 悟³・島村 徹平¹
名古屋大学医学系研究科、システム生物学分野¹・医薬基盤・健康・栄養研究所、プロテオームプロジェクト²・東京大学医科学研究所、ヒトゲノム解析センター³

2S-4-3 Systematic identification of somatic variants causing cis-splicing alterations
16:30 ~ 16:55

○Yuichi Shiraishi¹, Keisuke Kataoka², Kenichi Chiba¹, Ai Okada¹,
Yasunori Kogure², Hiroko Tanaka¹, Seishi Ogawa² and Satoru Miyano¹
Laboratory of DNA Information Analysis, Human Genome Center, Institute of Medical Science, The University of Tokyo¹, Department of Pathology and Tumor Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto University²

7 月 28 日（金曜日） July 28 (Fri)

会場 2 （月光）

15:50 ～ 17:20

シンポジウム 2S-4 / Symposium 2S-4

座長： 小川 寛之（東京大学）
松井 佑介（名古屋大学）

2S-4-4 マルチオミクスシーケンスデータに基づいた肺腺がん細胞の再
16:55 ～ 17:20 評価と層別化
Characterization of multi-omics features in lung adenocarcinoma
cells

○鈴木 絢子¹・鈴木 穰²・土原 一哉¹
国立がん研究センター¹・東京大学²

ランチョンセミナー
プログラム

Luncheon Seminar Program

7 月 26 日（水曜日） July 26 (Wed)

会場 1 （オービットホール 1）

12:30 ～ 13:25

ランチョンセミナー OLS-1 / Luncheon Seminar OLS-1

島津製作所

OLS-1 Ultra-fast mass spectrometry を用いた定量プロテオミクスとデータ可視化
12:30 ～ 13:25 Acquisition and visualization of targeted proteomics data using UFMS and Garuda platform

○松田 史生

大阪大学大学院・情報科学研究科

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

会場 1 (オービットホール 1)

12:30 ~ 13:25

ランチョンセミナー 1LS-1 / Luncheon Seminar 1LS-1

サーモフィッシャーサイエンティフィック

1LS-1 プロテオミクスのハイスループット化とクラウドによるデータマ
12:30 ~ 13:25 ネージメント
High throughput proteomics and data management based on
cloud service

○肥後 大輔

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

会場 2 (月光)

12:30 ~ 13:25

ランチョンセミナー 1LS-2 / Luncheon Seminar 1LS-2

コスモ・バイオ

1LS-2 Tracking Protein Expression, Post-translational Modifications and
12:30 ~ 13:25 Interactions with Antibody Microarrays

○Steven Pelech^{1,2}, Lambert Yue²

Kinexus Bioinformatics Corporation¹, University of British Columbia²

7 月 28 日（金曜日） July 28 (Fri)

会場 1 （オービットホール 1）

11:45 ～ 12:40

ランチョンセミナー 2LS-1 / Luncheon Seminar 2LS-1

サイエックス

2LS-1 血清・血漿サンプルの品質評価マーカーの開発

11:45 ～ 12:40 Development of quality control markers for serum/plasma samples.

○白水 崇¹・鷹野宏美¹・小寺義男²・朝長 毅¹

医薬基盤・健康・栄養研究所 プロテオームリサーチプロジェクト¹・北里大学
理学部・北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター²

会場 2 （月光）

11:45 ～ 12:40

ランチョンセミナー 2LS-2 / Luncheon Seminar 2LS-2

バイオ・ラッド

2LS-2 抗体作製技術 HuCAL によるカスタム抗体の様々なアプリケーションへの応用

11:45 ～ 12:40 Applications of Antibody Generated by HuCAL Technology

○中田宣之¹・海老原隆²

バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社¹・ジーンフロンティア株式会社²

教育セミナー
プログラム

Educational Seminar
Program

7 月 26 日（水曜日） July 26 (Wed)

会場 1 （オービットホール 1）

13:40 ～ 16:50

教育セミナー OES/ Educational Seminar OES

OES-1 高分解能 LC-MS におけるメンテナンスについて
13:40 ～ 14:10 Maintenances on High-Resolution Liquid Chromatography-Mass Spectrometry

○磯山 純子・足立 淳・朝長 毅
医薬基盤・健康・栄養研究所 プロテオームリサーチプロジェクト

OES-2 ショットガンプロテオミクスの試料調製について
14:10 ～ 14:40 Sample Preparation Techniques for Shotgun Proteomics

○増田 豪
熊本大学大学院生命科学研究部

OES-3 エクソソーム解析
14:40 ～ 15:10 Proteomic analysis of exosome

○植田 幸嗣
がん研究会・がんプレシジョン医療研究センター

7 月 26 日 (水曜日) July 26 (Wed)

会場 1 (オービットホール 1)

13:40 ~ 16:50

教育セミナー OES/ Educational Seminar OES

OES-4 マルチプレックス解析：深度とスループットの両立
(1P-35) Multiplex Analysis: High Throughput and In-depth Quantitation

15:20 ~ 15:50

○小形 公亮・Chia-Feng Tsai・若林 真樹・杉山 直幸・石濱 泰
京都大学大学院薬学研究科

OES-5 同定結果はどこまで信頼できるかーデータベース検索の落とし穴
15:50 ~ 16:20 —
How Trustworthy are the Identification Results? –Pitfalls in
Database Search–

○吉沢 明康
京都大学大学院薬学研究科

OES-6 ターゲッテドプロテオミクスの重要性
16:20 ~ 16:50 Importance of Targeted proteomics

○鳴海 良平
医薬基盤・健康・栄養研究所 プロテオームリサーチプロジェクト

ポスター発表
プログラム

Poster Program

7月27日(木曜日) July 27 (Thu)

ポスター会場 (オービットホール2)

13:30 ~ 14:55 (インデキシング 13:40~14:45)

座長：荒木 令江 (熊本大学)

Clinical Proteomics

- 1P-01** 免疫障害性精神・神経疾患血液バイオマーカーの測定法
13:40 ~ 13:45 Blood-based protein biomarker for neuropsychiatric disorders with immunological dysfunction
○大西 新^{1,2}・前田 忠計³
北里大学理学部 物理学科¹・(株)RESVO²・北里大学理学部 物理学科³
- 1P-02** 血漿プロテオームへのバツフィーコートコンタミネーションの影響
13:45 ~ 13:50 Buffy Coat Contamination Affects the Plasma Proteome — Is the Plasma Really Plasma? —
○中村 亮介・荒川 憲昭・前川 京子・斎藤 嘉朗
国立医薬品食品衛生研究所
- 1P-03** 質量分析計を用いた血清タンパク質・酸化メチオニン残基の定量分析による生活習慣病に伴う初期酸化ストレスの検出
13:50 ~ 13:55 Mass spectrometry analysis of oxidized methionine in serum as oxidative stress marker
○桃園 明^{1,2,3}・鈴木 智子^{1,2,3}・斎藤 達也^{1,2,3}・藤本 和美^{1,2}・紺野 亮²・中川 譲²・林 哲範¹・鎌田 裕二¹・小寺 義男^{2,3}・七里 眞義¹
北里大学医学部内分泌代謝内科学¹、北里大学理学部生物物理学研究室²、北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター³
- 1P-04** 血中エクソソームの網羅的プロテオミクスによる肺リンパ管筋腫症の新規バイオマーカー探索
13:55 ~ 14:00 Discovery of a novel biomarker for lymphangioliomyomatosis by proteomics from serum exosomes.
○滝本 宜之¹・武田 吉人¹・木庭 太郎¹・玄山 宗到¹・木田 博¹・白水 崇²・朝長 毅²・熊ノ郷 淳¹
大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学¹・医薬基盤・健康・栄養研究所 プロテオームリサーチプロジェクト²

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

ポスター会場 (オービットホール 2)

13:30 ~ 14:55 (インデキシング 13:40~14:45)

座長：荒木 令江 (熊本大学)

Clinical Proteomics

14:00 ~ 14:05 **1P-05** 高純度エクソソームの界面活性剤を用いたプロテオーム解析
LC-MS analysis of coat and whole proteins from highly pure
exosomes using MS compatible surfactants

○栗本 綾子・犬塚 達俊
富士レビオ株式会社

14:05 ~ 14:10 **1P-06** 切除組織培養分泌細胞外小胞の網羅的解析による大腸癌早期診断
バイオマーカーの開発
Proteome-wide profiling of viable colorectal cancer tissue-derived
extracellular vesicle

○村岡 賢¹・藤井 理沙¹・長山 聡²・植田 幸嗣¹
がん研 プロテオミクス解析グループ¹・がん研有明病院 大腸外科²

14:10 ~ 14:15 **1P-07** 日本人超百寿者に特徴的な血漿タンパク質糖鎖の解析
Characteristic glycans in plasma proteins of Japanese
semisupercentenarians

○三浦 ゆり¹・橋井 則貴²・太田 悠葵^{2,3}・鈴木 淳也²・高倉 大輔^{2,4}・
津元 裕樹¹・阿部 由紀子⁵・新井 康通⁵・川崎 ナナ^{2,3}・広瀬 信義⁵・
遠藤 玉夫¹
東京都健康長寿医療センター研究所老化機構研究チーム¹・国立医薬品食品衛生
研究所生物薬品部²・横浜市立大学生命医科学研究科³・慶応大学医学部・総合
医科学研究センター⁴・慶応大学医学部・百寿総合研究センター⁵

7月27日(木曜日) July 27 (Thu)

ポスター会場 (オービットホール 2)

13:30 ~ 14:55 (インデキシング 13:40~14:45)

座長: 山田 哲司 (国際医療福祉大学)

Clinical Proteomics

- 14:15 ~ 14:20 **1P-08** 蛍光二次元電気泳動法を用いたプロテオーム解析により同定した
粘液線維肉腫浸潤性評価バイオマーカー -Discoidin, CUB and
LCCL domain-containing protein 2 (DCBLD2)-
Discoidin, CUB and LCCL domain-containing protein 2 (DCBLD2) is
a novel biomarker of myxofibrosarcoma invasion identified by
global protein expression profiling

○菊田 一貴^{1,2,3}・窪田 大介^{2,3,4}・吉田 朗彦⁵・森岡 秀夫⁶・中村 雅也¹・松本 守
雄¹・中馬 広一³・川井 章³・近藤 格²

慶應義塾大学医学部整形外科¹・国立がん研究センター研究所希少がん研究分野
²・国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科³・順天堂大学医学部整形外科⁴・
国立がん研究センター中央病院病理診断部⁵・国立病院機構東京医療センター整
形外科⁶

- 14:20 ~ 14:25 **1P-09** 関節リウマチ滑膜細胞のリン酸化プロテオーム解析
Phosphoproteome analysis of synoviocytes from patients with
rheumatoid arthritis

○黒川 真奈絵¹・加藤 智啓²

聖マリアンナ医科大学大学院、疾患バイオマーカー・標的分子制御学¹・聖マリ
アンナ医科大学大学院、疾患プロテオーム・分子病態治療学²

- 1P-10** リン酸化プロテオゲノミクスにより暴かれる淡明腎細胞がん
(2S-4-1) Kinotype と層別化治療戦略の構築
14:25 ~ 14:30 Precision medicine based on Kinotype of clear cell renal cell
carcinoma with phospho-proteogenomics

○阿部 雄一¹・松井 佑介²・植村 元秀³・多田 亜沙¹・足立 淳¹・朝長 毅¹
医薬基盤・健康・栄養研究所、プロテオームリサーチプロジェクト¹・名古屋大
学医学系研究科²・大阪大学医学系研究科³

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

ポスター会場 (オービットホール 2)

13:30 ~ 14:55 (インデキシング 13:40~14:45)

座長：山田 哲司 (国際医療福祉大学)

Clinical Proteomics

14:30 ~ 14:35 1P-11 段階的脱グリコシル化法を用いた正常人 IgA1 O 結合型糖鎖構造の
人種間比較

Racial comparison of IgA1 O-glycoforms of healthy subjects by a
sequential deglycosylation protocol

○大山 友香子¹・高橋 和男¹・山口 央輝²・加藤 彰浩¹・松下 祥子¹・
吉田 祐理³・水野 智博³・深町 幸宏⁴・横井 靖人⁴・中嶋 和紀⁵・
比企 能之¹・湯澤 由紀夫¹

藤田保健衛生大学医学部腎内科学¹・藤田保健衛生大学総合医科学研究所²・名
城大学薬学部薬効解析学研究室³・三井情報株式会社⁴・藤田保健衛生大学研究
支援推進センター⁵

14:35 ~ 14:40 1P-12 SWATH 法による肝硬変患者尿の定量プロテオーム解析
Quantitative SWATH analysis of urine proteome of liver cirrhosis
patients

○許 波¹・平尾 嘉利¹・高村 昌昭²・山本 恵子¹・Amr Elguoshy¹・
Ali F. Quadery¹・斎藤 卓¹・山本 格¹

新潟大学・生体液バイオマーカーセンター¹、新潟大学大学院医歯学総合研究
科・消化器内科学分野²

14:40 ~ 14:45 1P-13 ヒト脳脊髄液中 Tau タンパク質の高感度質量分析とアイソフォー
(1S-1-1) ム識別部位の定量
Highly Sensitive MS Analysis of Tau Protein in Human CSF and
Quantitation of Isoform Discrimination Site

日置 雄策・金子 直樹・○依田 里都子・関谷 禎規・岩本 慎一・田中 耕一
株式会社島津製作所 田中耕一記念質量分析研究所

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

ポスター会場 (オービットホール 2)

13:30 ~ 14:55 (インデキシング 13:40~14:45)

座長：平野 久 (横浜市立大学)

Basic Biology 1(non-mammal)

13:40 ~ 13:45 **1P-14** 脊椎動物と無脊椎動物各種の速筋および遅筋における比較プロテオーム解析

Comparative Proteome Analysis of Fast and Slow Muscles from Various Vertebrates and Invertebrates

相川 諒・安藤 凌汰・細貝 真人・○大石 正道
北里大学理学部物理学科生物物理学講座

13:45 ~ 13:50 **1P-15** PAPS 合成酵素アイソフォームの生理機能解明
(1S-4-6) Physiological functions of distinct PAPS synthetase isoforms

上中 勝護¹・山下 光恵¹・黒木 勝久¹・上地 珠代²・剣持 直哉²・Ming-Cheh Liu³・
水光 正仁¹・○榊原 陽一¹
宮崎大学農学部応用生物科学科¹・宮崎大学フロンティア科学実験総合センター²・
トレド大学薬学部³

13:50 ~ 13:55 **1P-16** ニトロシル化解析から探る冠水ストレス下のエネルギー産生に対する一酸化窒素の役割
(1S-4-5) S-nitrosoproteomic Analysis on the Role of Nitric Oxide in Energy Production under Flooding Stress

○橋口 晶子¹・小松 節子^{1,2}
筑波大学¹・農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所²

13:55 ~ 14:00 **1P-17** Metabolic Profiles of Flooding-Tolerant Mechanism in Soybean Responding to Initial Stress

○Xin Wang^{1,2}, Wei Zhu³, Akiko Hashiguchi^{1,2}, Minoru Nishimura⁴, Jingkui Tian³,
Hiroshi Matsumoto¹, Setsuko Komatsu^{1,2}
University of Tsukuba¹, National Institute of Crop Science², Zhejiang University³,
Niigata University⁴

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

ポスター会場 (オービットホール 2)

13:30 ~ 14:55 (インデキシング 13:40~14:45)

座長: 平野 久 (横浜市立大学)

Basic Biology 1(non-mammal)

- 1P-18 新規合成型 HaloTag プロテインアレイ技術を利用した転写因子相
(1S-4-4) 相互作用ネットワーク解析
14:00 ~ 14:05 Mapping transcription factor networks using HaloTag protein
arrays

○矢崎 潤史

理化学研究所統合生命医科学研究センター

Pharmacoproteomics & Drug Development

- 1P-19 Activatable 型光反応性基を用いた細胞種選択的なタンパク質の光
14:05 ~ 14:10 ラベル化
Development of activatable photophore for selective labeling of
proteins in β -Gal expressing cells.

○井上 大輝¹・上野 匡¹・浦野 泰照^{1,2,3}

東京大学大学院薬学系研究科¹・東京大学大学院医学系研究科²・AMED CREST³

- 1P-20 Diced Electrophoresis Gel (DICE) 法を用いた癌細胞における活性
(1S-3-1) 異常酵素の探索
14:10 ~ 14:15 Discovery of tumor-associated aberrant activities of enzymes with
enzymomics approach

○小松 徹¹・小名木 淳¹・市橋 裕樹¹・浦野 泰照^{1,2,3}

東京大学大学院薬学系研究科¹・東京大学大学院医学系研究科²・AMED CREST³

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

ポスター会場 (オービットホール 2)

13:30 ~ 14:55 (インデキシング 13:40~14:45)

座長：榊原 陽一 (宮崎大学)

Technological Advances

- 1P-21** プロテオーム解析用高性能キャピラリーカラム
14:15 ~ 14:20 High performance capillary columns for proteome analysis
- 本川 正規¹・佐藤 亮¹・森里 恵¹・今野 行紀¹・水口 博義²・佐藤 睦¹
ジーエルサイエンス¹・京都モノテック²
- 1P-22** 無孔性逆相カラムを用いた高感度プロテオーム解析システムの構築
(1S-2-6)
14:20 ~ 14:25 Development of nanoLC-MS/MS with nonporous reverse phase column for high-sensitive proteome analysis
- 川島 祐介¹・小原 収^{1,2}
理化学研究所統合生命医科学研究センター¹・かずさ DNA 研究所²
- 1P-23** インタクトタンパク質の高精度分離分析を目指したモノリスシリカキャピラリーカラムの開発
14:25 ~ 14:30 Development of Monolithic Silica Capillary Column for High Resolution Separation of Intact Proteins
- 小林 宏資・助川 麻友・和田 啓男
信和化工株式会社 R&D グループ

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

ポスター会場 (オービットホール 2)

13:30 ~ 14:55 (インデキシング 13:40~14:45)

座長：榊原 陽一 (宮崎大学)

Technological Advances

1P-24 半導体発振の空洞共振装置によるプロテオミクスのためのマイクロ波照射前処理
(1S-2-5)

14:30 ~ 14:35 Microwave-Assisted Pretreatment for Proteomics by Cavity Resonance Device with Semiconductor Oscillation

青木 富士子・平坂 建樹・吉村 武朗・○大内 将吉
九州工業大学生命情報工学科

1P-25 質量分析を用いた新規絶対タンパク定量法による時計タンパクの定量
14:35 ~ 14:40

A method for mass spectrometry-based absolute quantification reveals rhythmic variation of mouse circadian clock proteins

○鳴海 良平^{1,2}・清水 義宏²・鵜飼 磨貴²・大出 晃士^{2,3}・神田 元紀²・
篠原 雄太²・佐藤 文²・松本 桂彦²・上田 泰己^{2,3}
医薬基盤・健康・栄養研究所¹・理研生命システム研究センター²・東京大学大学院医学系研究科³

1P-26 ディーププロテオミクスを目指した前処理と測定/解析の検討
14:40 ~ 14:45 Method development for deep proteomics

○渡邊 史生・肥後 大輔
サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

7月27日（木曜日） July 27 (Thu)

ポスター会場 （オービットホール2）

13:30 ~ 14:55 （インデキシング 13:40~14:45）

座長：若林 真樹（国立循環器病研究センター）

Technological Advances

1P-27 レーザーマイクロダイセクションーレクチンマイクロアレイによるマウス組織グライコームマッピング

13:40 ~ 13:45 Mouse tissue glycome mapping by laser microdissection and lectin microarray

○岡谷(永井) 千晶¹・角田 修一¹・Xia Zou²・吉田 真樹¹・佐藤 隆¹・
松田 厚志³・萩原 梢¹・清原 克恵¹・板倉 陽子⁴・野呂 絵里花¹・
豊田 雅士⁴・Yan Zhang²・成松 久¹・久野 敦¹

産業技術総合研究所創薬基盤研究部門¹・上海交通大学上海系統生物医学研究センター²・慶応大学医学部医化学³・東京都健康長寿医療センター研究所血管医学研究⁴

1P-28 二次元電気泳動法によるシェディングの解析

13:45 ~ 13:50 An analysis of shedding by two-dimensional polyacrylamide gel electrophoresis

○表山 和樹¹・佐藤 利行¹・佐藤 政秋¹・有戸 光美¹・末松 直也¹・
黒川 真奈絵²・加藤 智啓¹

聖マリアンナ医科大学大学院 疾患プロテオーム分子病態治療学¹・聖マリアンナ医科大学大学院疾患バイオマーカー標的分子制御学²

1P-29 サイノメプレートを用いたタンパク質の分画

13:50 ~ 13:55 Protein fractionation using the SAINOME-plate

○井野 洋子¹・香川 裕之¹・秋山 知子¹・河村 真紀子²・平野 久¹・
木村 弥生¹

横浜市立大学 先端医科学研究センター¹・sainome 株式会社²

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

ポスター会場 (オービットホール 2)

13:30 ~ 14:55 (インデキシング 13:40~14:45)

座長：若林 真樹 (国立循環器病研究センター)

Technological Advances

- 1P-30** 標的同定のための光アフィニティービーズの効率的な作製法
13:55 ~ 14:00 A new efficient method of generating photoaffinity beads for drug target identification.

○濱田 友子・阿部 真之・高嶋 通雄・堤 今日子・大川 克也・西谷 陽一
協和発酵キリン株式会社 研究開発本部 研究機能ユニット 化学研究所

- 1P-31** スルホクリック反応を利用した光反応性プローブの簡便合成と標的タンパク質同定の効率化
14:00 ~ 14:05 Sulfo-click based facile synthesis of peptide photoprobe for rapid analysis of the target protein

○林 龍二・森本 正大・千葉 順哉・畑中 保丸・友廣 岳則
富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学)

- 1P-32** Kinase activity profiling by motif-targeting phosphoproteome analysis
14:05 ~ 14:10

○Chia-Feng Tsai・Naoyuki Sugiyama・Yasushi Ishihama
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University

- 1P-33** N-terminal Arg/Lys Proteases for Shotgun Proteomics
14:10 ~ 14:15

○Chih-Hsiang Chang・Naoyuki Sugiyama・Yasushi Ishihama
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

ポスター会場 (オービットホール 2)

13:30 ~ 14:55 (インデキシング 13:40~14:45)

座長：小寺 義男 (北里大学)

Technological Advances

1P-34 Signal Amplification for Low Abundant Plasma Proteins by
14:15 ~ 14:20 Peptide Chimera (p-Chimera) Strategy

○王 慧婷¹・蔡 家峰²・園村 和弘¹・石濱 泰²・松田 文彦¹
京都大学医学研究科附属ゲノム医学センター¹・京都大学大学院薬学研究科²

1P-35 マルチプレックス解析：深度とスループットの両立
(0ES-4) Multiplex Analysis: High Throughput and In-depth Quantitation
14:20 ~ 14:25

○小形 公亮・Chia-Feng Tsai・若林 真樹・杉山 直幸・石濱 泰
京都大学大学院薬学研究科

1P-36 DIA 法を用いたハイスループットな血清プロテオーム解析
(1S-2-4) Data independent acquisition mass spectrometry for high
14:25 ~ 14:30 throughput serum proteomic strategy

○伴 涼太郎^{1,2}・中居 佑介²・井野 洋子²・宮本 優子²・香川 裕之²・Frank
Schmidt³・平野 久²・木村 弥生²
横浜市立大学大学院 生命医科学研究科¹・横浜市立大学 先端医科学研究センタ
ー²・グライフスヴァルト医科大学³

7 月 27 日 (木曜日) July 27 (Thu)

ポスター会場 (オービットホール 2)

13:30 ~ 14:55 (インデキシング 13:40~14:45)

座長：小寺 義男 (北里大学)

Technological Advances

- 14:30 ~ 14:35 **1P-37** システムレベルオミクスのための四重極スキャンを利用した新規
DIA 分析法の最適化
METHOD OPTIMIZATION OF A NOVEL SCANNING QUADRUPOLE
DIA METHOD FOR SYSTEM-LEVEL OMICS

○寺崎 真樹¹・Chris Hughes²・Keith Richardson²・Jason Wildgoose²・Johannes
PC Vissers²・James I Langridge²

日本ウォーターズ株式会社¹・ウォーターズコーポレーション²

- 14:35 ~ 14:40 **1P-38** AQUA 法と Spike-in ラベルフリー法によるハイブリッド型定量プ
ロテオミクス
Hybrid-type Quantitative Proteomics with AQUA and Spike-in
Label-free Method

○森 大^{1,2}・大沼 澄子¹・曾我 朋義^{1,2}・富田 勝^{1,2}

慶應義塾大学先端生命科学研究所¹・慶應義塾大学政策メディア研究科²

- 14:40 ~ 14:45 **1P-39** 生体組織切片上のタンパク質分析に必要なマトリックス探索と質
量校正方法
Novel Matrix and On-tissue Calibration for Protein Analysis on
Tissue Sections

○名越 慶士郎・村上 麻佑子・高山 光男

横浜市立大学

7 月 28 日 (金曜日) July 28 (Fri)

ポスター会場 (オービットホール 2)

12:45 ~ 13:55 (インデキシング 12:50~13:50)

座長：山本 格 (新潟大学)

Clinical Proteomics

2P-01 Preliminary analysis of the diagnostic and prognostic value of
12:50 ~ 12:55 Heat Shock Proteins and their lysine methylation status in the
progression of Type 2 Diabetes Mellitus

○Byron Baron ^{1,2}

Centre of Molecular Medicine and Biobanking, Faculty of Medicine and Surgery,
University of Malta¹ • Department of Tumor Genetics and Biology, Graduate
School of Medical Sciences, Kumamoto University²

2P-02 アルツハイマー病患者の尿中蛋白質プロファイルの解析
12:55 ~ 13:00 Urinary protein profiling in patients of Alzheimer's disease.

○渡邊 裕美¹・平尾 嘉利²・春日 健作³・徳武 孝允⁴・池内 健³・

中村 和利¹・山本 格²

新潟大学大学院医歯学総合研究科社会・環境医学分野¹・新潟大学生体液バイオ
マーカーセンター²・新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学分野³・新潟大学脳研究
所神経内科学分野⁴

2P-03 軽度認知障害の診断バイオマーカーの探索
13:00 ~ 13:05 Discovery of Plasma Protein Biomarker for Diagnosis of Mild
Cognitive Impairment

○近藤 志織¹・北村 祐貴¹・本城 貴志¹・山嶋 哲盛²・村田 真理子¹・

及川 伸二¹

三重大学大学院・医学系研究科・環境分子医学¹・金沢大学大学院・医学系研究
科²

7月28日（金曜日） July 28 (Fri)

ポスター会場 (オービットホール 2)

12:45 ~ 13:55 (インデキシング 12:50~13:50)

座長：山本 格（新潟大学）

Clinical Proteomics

2P-04 アルツハイマー病患者血漿エクソソーム内タンパク質の発現量解析
13:05 ~ 13:10
Analysis of proteins in the plasma exosomes of patients with Alzheimer's disease

○小嶋 みどり¹・北村 祐貴¹・森 有利絵¹・木田 博隆²・佐藤 正之²・
市原 佐保子³・埜村 智之⁴・石川 雅一⁴・村田 真理子¹・富本 秀和^{2,5}・
及川 伸二¹

三重大学大学院・医学系研究科・環境分子医学¹・三重大学大学院・医学系研究科・認知症医療学²・三重大学大学院・地域イノベーション学研究所³・JA 三重厚生連いなべ総合病院⁴・三重大学大学院・医学系研究科・神経病態内科学⁵

2P-05 アルツハイマー病患者の血漿中カルボニル化タンパク質のプロテオミクス解析
13:10 ~ 13:15
Proteomic analysis of carbonylated proteins in plasma of patients with Alzheimer's disease

○辻本 佳世¹・北村 祐貴¹・森 有利絵¹・木田 博隆²・佐藤 正之²・
市原 佐保子³・埜村 智之⁴・石川 雅一⁴・村田 真理子¹・富本 秀和^{2,5}・
及川 伸二¹

三重大学大学院・医学系研究科・環境分子医学¹・三重大学大学院・医学系研究科・認知症医療学²・三重大学大学院・地域イノベーション学研究所³・JA 三重厚生連いなべ総合病院⁴・三重大学大学院・医学系研究科・神経病態内科学⁵

2P-06 尿プロテオーム解析により同定された afamin の糖尿病腎症進行予測
(1S-1-2) 測マーカーとしての可能性
13:15 ~ 13:20
Urinary Afamin Levels are Associated with the Progression of Diabetic Nephropathy

○高橋 枝里¹・久保田 浩之¹・梶尾 裕¹・山下 滋雄²・本田 律子¹・
志賀 智子¹・野田 光彦³・鎗木 康志¹
国立国際医療研究センター¹・JR 東京総合病院²・埼玉医科大学³

7 月 28 日 (金曜日) July 28 (Fri)

ポスター会場 (オービットホール 2)

12:45 ~ 13:55 (インデキシング 12:50~13:50)

座長：尾野 雅哉 (国立がん研究センター研究所)

Clinical Proteomics

- 2P-07 プロテオーム解析に最適な血漿エクソソーム分離方法の検討
13:20 ~ 13:25 Evaluation of Plasma Extracellular Vesicles Isolation Protocols for Proteome Analysis

○笠原 桂子^{1,2}・鳴海 良平¹・阿部 雄一¹・白水 崇¹・足立 淳¹・長山 聡³・
坂井 義治²・朝長 毅¹

医薬基盤・健康・栄養研究所プロテオームリサーチプロジェクト¹・京都大学大
学院医学研究科 消化管外科²・がん研究会有明病院消化器センター大腸外科³

- 2P-08 変形性関節症における人工関節置換術前後の血清プロテオミクス
13:25 ~ 13:30 解析
A proteomics analysis of sera from osteoarthritis patients,
before/after joint replacement surgery.

木村 稚佳子¹・上田 洋司²・○山口 央輝³・黒岩 宇¹・池田 大樹¹・
森田 充浩¹・早川 和恵¹・土田 邦博²・山田 治基¹

藤田保健衛生大学医学部、整形外科¹・藤田保健衛生大学総合医科学研究所、難
病治療学²・藤田保健衛生大学総合医科学研究所、医高分子学³

- 2P-09 サンドイッチ ELISA 法を用いた血清 thrombin light chain 測定系の
13:30 ~ 13:35 確立と評価
Development of a sandwich ELISA for the thrombin light chain
detected by serum proteome analysis

○曾川 一幸¹・薄井 初美¹・田中 優美¹・藤原 あかね¹・高野 重紹²・
吉富 秀幸²・宮崎 勝²・野村 文夫³・古畑 勝則¹

麻布大学生命・環境科学部¹・千葉大学大学院医学研究院²・千葉大学医学部附
属病院³

7 月 28 日 (金曜日) July 28 (Fri)

ポスター会場 (オービットホール 2)

12:45 ~ 13:55 (インデキシング 12:50~13:50)

座長：尾野 雅哉 (国立がん研究センター研究所)

Clinical Proteomics

- 2P-10 ラットのアルコール性肝障害モデルにおけるいわゆる休肝日の効果
13:35 ~ 13:40 果
Effects of so-called "alcohol free days" on alcohol-induced liver injury in rats

○石川原 暁¹・黒田 倫子¹・岡田 怜奈¹・鈴木 麻耶¹・佐藤 育美¹・
小寺 義男²・曾川 一幸¹・古畑 勝則¹
麻布大学生命・環境科学部¹・北里大学理学部²

- 2P-11 イヌおよびネコの尿における MALDI BioTyper System を用いた直接菌種同定
13:40 ~ 13:45
Use of the MALDI BioTyper system with MALDI-TOF MS for rapid identification of microorganisms causing bacterial urinary tract infection from urine samples

○林 加織¹・曾川 一幸¹・前田 浩人²・古畑 勝則¹
麻布大学生命・環境科学部¹・前田獣医科医院²

- 2P-12 サンドイッチ ELISA 法を用いた C4BPA 測定系の確立と評価
13:45 ~ 13:50
Development of a sandwich ELISA for the C4BPA detected by serum proteome analysis

○原口 祥佳¹・近藤 玲奈¹・成澤 智美¹・曾川 一幸¹・高野 重紹²・
吉富 秀幸²・宮崎 勝²・野村 文夫³・古畑 勝則¹
麻布大学生命・環境科学部¹・千葉大学大学院医学研究院²・千葉大学医学部附属病院³

7月28日(金曜日) July 28 (Fri)

ポスター会場 (オービットホール 2)

12:45 ~ 13:55 (インデキシング 12:50~13:50)

座長：植田 幸嗣 (がん研究会)

Clinical Proteomics

- 2P-13 グリオーマ幹細胞における翻訳後修飾アセチル化の分化変動プロ
12:50 ~ 12:55 テオミクス
Acetyl-proteome analysis of glioma-derived stem cell
differentiation

○岡西 広樹¹・鷲頭 朋之²・南部 晶子¹・小林 大樹¹・荒木 令江¹
熊本大学大学院生命科学研究部¹・東海大学農学部²

- 2P-14 マルチオミクス解析を用いた希少遺伝性疾患の責任因子の同定
12:55 ~ 13:00 Identification of pathogenic mutations in patients with rare
diseases using multi-omics analysis

○岡 泰由¹・中沢 由華²・荻 朋男¹
名古屋大学環境医学研究所¹・長崎大学原爆後障害医療研究所²

Systems Biology

- 2P-15 マルチオミクスデータを利用した分子ネットワーク解析ー生命情
13:00 ~ 13:05 報統合プラットフォーム KeyMolnet を用いてー
Molecular network analysis of multi-omics data -Using Key Molnet,
an integration platform for biological information-

○谷口 理恵・重高 美紀・井上 陽子・岩崎 奈可子・太田 美枝子・
増野 和子・鈴木 菜穂・宮原 静・重高 誠
株式会社 KM データ

7月28日（金曜日） July 28 (Fri)

ポスター会場 (オービットホール 2)

12:45 ~ 13:55 (インデキシング 12:50~13:50)

座長：植田 幸嗣 (がん研究会)

Computational proteomics

2P-16 プロテオーム統合データベース jPOST: 質量分析データ・リポジトリ (2S-2-2)

13:05 ~ 13:10 Integrated Database for Proteomes jPOST: Mass spectrometry Data Repository

○奥田 修二郎¹・○渡辺 由¹・守屋 勇樹²・河野 信²・山本 格³・松本 雅紀⁴・高見 智代⁴・小林 大樹⁵・荒木 令江⁵・吉沢 明康⁶・田畑 剛⁶・杉山 直幸⁶・田中 聡⁷・五斗 進²・石濱 泰⁶

新潟大学大学院医歯学総合研究科¹・情報・システム研究機構、データサイエンス共同利用基盤施設、ライフサイエンス統合データベースセンター²・新潟大学産学地域連携推進機構、生体液バイオマーカーセンター³・九州大学生体防御医学研究所、トランスオミクス医学研究センター⁴・熊本大学大学院生命科学研究部⁵・京都大学大学院薬学研究科⁶・Trans-IT⁷

2P-17 Comprehensive bioinformatic approach for analyzing and (2S-2-6) detecting human missing proteins

13:10 ~ 13:15

○Amr Elguoshy^{1,2}・Yoshitoshi Hirao¹・Bo Xu¹・Suguru Saito¹・Ali F. Quadery¹・Keiko Yamamoto¹・Toshiaki Mitsui²・Tadashi Yamamoto¹
Biofluid and Biomarker Center, Niigata University¹・Graduate School of Science and Technology, Niigata University²

7月28日（金曜日） July 28 (Fri)

ポスター会場 （オービットホール 2）

12:45 ～ 13:55 （インデキシング 12:50～13:50）

座長：植田 幸嗣（がん研究会）

Computational proteomics

2P-18 jPOST: プロテオーム統合データベースの開発

(2S-2-4) jPOST: Development of Integrated Database for Proteomics

13:15 ～ 13:20

○守屋 勇樹¹・河野 信¹・奥田 修二郎²・渡辺 由²・山本 格³・松本 雅記⁴・
高見 知代⁴・小林 大樹⁵・荒木 令江⁵・吉沢 明康⁶・田畑 剛⁶・
杉山 直幸⁶・田中 聡⁷・五斗 進¹・石濱 泰⁶

情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 ライフサイエ
ンス統合データベースセンター¹・新潟大学 大学院医歯学総合研究科 新領域開
拓研究センター²・新潟大学 産学地域連携推進機構 生体液バイオマーカーセ
ンター³・九州大学 生体防御医学研究所 トランスオミクス医学研究センター
⁴・熊本大学 大学院生命科学研究部 腫瘍医学⁵・京都大学 大学院薬学研究科
製剤機能解析学⁶・Trans-IT⁷

7月28日(金曜日) July 28 (Fri)

ポスター会場 (オービットホール 2)

12:45 ~ 13:55 (インデキシング 12:50~13:50)

座長: 谷口 直之 (理化学研究所)

Basic Biology 2 (mammal)

2P-19 Characterization of histone H3 post-translational modifications for
(2S-1-3) providing epigenetic information

13:20 ~ 13:25

○Ho-Geun Kwak・Takehiro Suzuki・Naoshi Dohmae
Biomolecular Characterization Unit, RIKEN CSRS

Clinical Proteomics

2P-20 エクソソームの最新プロテオミクスによる喘息の新規バイオマ
13:25 ~ 13:30 カー探索
Discovery of asthma biomarker by proteomics from peripheral
exosomes

○武田 吉人¹・玄山 宗到¹・木庭 太郎¹・滝本 宣之¹・木田 博¹・
植田 幸嗣²・熊ノ郷 淳¹
大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科¹・がん研究会ゲノムセンター
プロテオミクス解析グループ²

2P-21 エクソソームの最新プロテオミクスによる新規 COPD バイオマ
13:30 ~ 13:35 カーの探索
Proteomic profiling of peripheral exosomes to identify novel
biomarker candidates for emphysema

○木庭 太郎¹・武田 吉人¹・葉山 善友¹・玄山 宗到¹・滝本 宣之¹・
木田 博¹・白水 崇²・朝長 毅²・熊ノ郷 淳¹
大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科¹・医薬基盤研究所プロテオ
ムリサーチプロジェクト²

7月28日(金曜日) July 28 (Fri)

ポスター会場 (オービットホール 2)

12:45 ~ 13:55 (インデキシング 12:50~13:50)

座長：谷口 直之 (理化学研究所)

Basic Biology 2 (mammal)

2P-22 オーフアントランスポーターSLC22A18のタンパク質翻訳後修飾
(2S-1-5) への関与

13:35 ~ 13:40 Involvement of orphan transporter SLC22A18 in the
post-translational modification of proteins in 293 cells

○伊藤 慎悟^{1,2,3}・本多 玄太郎²・赤澤 貴憲⁴・寺崎 哲也⁴・大槻 純男^{1,2,3}
熊本大学大学院生命科学研究部(薬)¹・熊本大学薬学部²・AMED-CREST³・東北大
学大学院薬学研究科⁴

2P-23 増殖阻害活性を有する新規化合物の標的同定
13:40 ~ 13:45 Chemoproteomic and chemogenetic drug target identification of
a novel synthetic compound showing the potent anti-proliferative
activity against cancer cell lines.

○山口 大介¹・今泉 貴充¹・八木 香機¹・田中 理恵子¹・濱田 友子¹・
飯田 恭一郎²・岸川 邦至¹・中嶋 孝行¹・大川 克也¹・西谷 陽一¹・
久保 和生¹
協和発酵キリン株式会社 研究開発本部¹・協和発酵キリン株式会社²

2P-24 定量プロテオミクスを用いたインスリン抵抗性マウスにおける血
13:45 ~ 13:50 液脳関門と脳実質のタンパク質発現変動の解明
Quantitative proteome analysis of the BBB and brain parenchyma
in mouse model of insulin resistance

○緒方 星陵¹・伊藤 慎悟^{1,2,3}・増田 豪^{1,2,3}・大槻 純男^{1,2,3}
熊本大学大学院薬学教育部¹・熊本大学大学院生命科学研究部²・AMED-CREST³

7月28日(金曜日) July 28 (Fri)

ポスター会場 (オービットホール 2)

12:45 ~ 13:55 (インデキシング 12:50~13:50)

座長：服部 成介 (北里大学)

Basic Biology 2 (mammal)

2P-25 Phosphoproteomics reveals the cellular processes affected by
12:50 ~ 12:55 leucine transported through LAT1

○Pornparn Kongpracha¹・P. Wiriyasermkul²・N. Isozumi¹・S. Okuda¹, R. Ohgaki¹・
S. Nagamori¹・Y. Kanai¹

Bio-system Pharmacology, Department of Pharmacology, Graduate School of
Medicine, Osaka University¹・Department of Psychiatry, Columbia University
College of Physicians and Surgeons²

2P-26 プロテオミクスによる細胞内システイン残基の酸化状態定量解析
12:55 ~ 13:00 Quantitative proteomics of global intracellular cysteine-thiol
redox states

○新木 和孝¹・福井 一彦¹・夏目 徹^{1,2}

産業技術総合研究所、創薬分子プロファイリング研究センター¹・RBI Inc.²

2P-27 エクトドメインシェディング切断部位の網羅的同定
(2S-1-4) Toward Comprehensive Identification of Cleavage Sites Generated
13:00 ~ 13:05 by Ectodomain Shedding

○津曲 和哉・山本 英人・張 智翔・杉山 直幸・石濱 泰
京都大学大学院薬学研究科

7月28日(金曜日) July 28 (Fri)

ポスター会場 (オービットホール 2)

12:45 ~ 13:55 (インデキシング 12:50~13:50)

座長：服部 成介 (北里大学)

Basic Biology 2 (mammal)

2P-28 質量分析を用いた RNA 制御タンパク質同定技術の開発とその利用
13:05 ~ 13:10 Proteomic approaches for identification of the proteins that regulate a specific RNA

○足達 俊吾・八田 知久・夏目 徹

産業技術総合研究所、創薬分子プロファイリング研究センター

2P-29 ヒトおよびマウスの腸内細菌叢メタプロテオーム解析
13:10 ~ 13:15 Metaproteome analysis of human and mouse gut microbiota

○伊藤 麻里子¹・坂本 悠太¹・杉山 直幸¹・園村 和弘²・松田 文彦²・
石濱 泰¹

京都大学大学院薬学研究科¹・京都大学大学院医学研究科ゲノム医学センター²

Pharmacoproteomics & Drug Development

2P-30 新しい proteomic correlation profiling による繊維化抑制剤の標的
13:15 ~ 13:20 分子同定
Target molecule identification of Fibrotic Pathway Inhibitor by
new proteomic correlation profiling

○櫻井 秀敬¹・大木 優¹・清水 弘樹¹・石川 富雄¹・小林 英毅・
久保田 一石¹

第一三共 RD ノバーレ株式会社¹・第一三共株式会社²

7月28日（金曜日） July 28 (Fri)

ポスター会場 (オービットホール 2)

12:45 ~ 13:55 (インデキシング 12:50~13:50)

座長：吉田 豊（新潟大学）

Biobank & Body fluid

- 2P-31 腎臓集合管由来の尿エクソソームのプロテオーム解析
13:20 ~ 13:25 Proteome analysis of urine exosomes derived from kidney
collecting duct

○山本 恵子¹・平尾 嘉利¹・Amr Elguoshy¹・許 波¹・斎藤 卓¹・
Ali F. Quadery¹・佐々木 成²・山本 格¹
新潟大学生体液バイオマーカーセンター¹・明治薬科大学薬学部²

- 2P-32 保存された臨床検体（血清）の質量分析による劣化の評価
(2S-3-2) The effects of preanalytical variables on serum peptidome profiles
13:25 ~ 13:30 following long-term storage

○土田 祥央¹・佐藤 守¹・梅村 啓史²・曾川 一幸³・滝脇 正貴¹・
西村 基⁴・小寺 義男⁵・松下 一之⁴・野村 文夫^{1,4}
千葉大学医学部附属病院マススペクトロメトリー検査診断学¹・岡山大学大学院
医歯薬学総合研究科皮膚科学分野²・麻布大学臨床検査技術学科生化学教室³・
千葉大学医学部附属病院検査部/遺伝子診療部⁴・北里大学理学部物理学科生物物
理学講座⁵

- 2P-33 血清・血漿タンパク質の安定性に関する基礎的検討
13:30 ~ 13:35 Study on quality evaluation of serum/plasma specimens

○紺野 亮¹・中川 譲¹・山田 拓也¹・樋口 雅崇¹・鷹野 宏美²・白水 崇²・七
里 眞義³・朝長 毅²・小寺 義男^{1,4}
北里大学理学部物理学科生物物理学講座¹・医薬基盤研究所²・北里大学医学部
内分泌代謝内科学³・北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター⁴

7 月 28 日 (金曜日) July 28 (Fri)

ポスター会場 (オービットホール 2)

12:45 ~ 13:55 (インデキシング 12:50~13:50)

座長: 吉田 豊 (新潟大学)

Biobank & Body fluid

- 2P-34 標的修飾ペプチド・データベース検索による尿中ペプチドの網羅的
(2S-3-4) 同定
13:35 ~ 13:40 Urinary Peptidomic Identification Using Targeted Peptide/PTM
Database Search

○村瀬 雅樹・福山 裕子・日置 雄策・山田 賢志・児嶋 浩一・岩本 慎一・田中
耕一
株式会社 島津製作所

Technological Advances

- 2P-35 新規の安定同位体標識試薬 Py-Tag は、プロテオーム分析に有用で
13:40 ~ 13:45 ある
The Novel Stable Isotope Labelling Reagent Py-Tag is useful for
Proteome Analysis

○Yukie Tanaka¹・A.Ikeda²・C.Maruyama³・S.Murakami³・H.Katano³・S.Taira³
University of Fukui¹・Taiyo Nippon SansoCo.²・Fukui Prefectural University³

- 2P-36 Comprehensive Proteomic Analysis of Venoms from Seven Snakes
13:45 ~ 13:50 Indigenous to Southeast Asia

○L.Cannizzaro¹・A.Devabhakuri²・K.Sopitthummakhun^{1,3}・L.Chanhom⁴・
N.Pakmanee⁴・N.Chaiyabutr⁴・J.E.Elias²・D.M.Payne¹・V.Sitprija⁴・T.Pisitkun¹
Systems Biology Center, Faculty of Medicine, Chulalongkorn University¹・
Department of Chemical and Systems Biology, Stanford University²・Faculty of
Science and Technology, Huachiew Chalermprakiet University³・Queen
Saovabha Memorial Institute, The Thai Red Cross Society⁴